

令和 6 年 度

工事数量算出要領 改正内容

1. 平成20年2月28日付け事調第1103号農政部長通知文中の「記」以下を、次のとおり改める。

「記」以下変更内容（下線部変更箇所）

- 1 工事数量算出要領 別添、「工事数量算出要領」のとおり。
- 2 対応積算基準 「土地改良事業等適用標準歩掛」の制定について（平成17年9月29日付け事調第592号農政部長通知）
- 3 適用年月日 令和7年3月19日より適用する。

2. 改正内容は、別紙、令和6年度 工事数量算出要領 改正一覧表のとおり。

令和6年度 工事数量算出要領の改正一覧表

【令和7年3月19日以降適用】

項目	名称	細目	改正内容
1章 基本事項	1.9 数量の算出	別表-1 <ul style="list-style-type: none"> ・字句の追加、削除、改正 追加区分・・・泥水処理工、排水材設置工、舗装版削孔工、客土帯置工、補助暗渠工 削除区分・・・砂利道路路面処理工、半たわみ性舗装工、ブロック舗装工 改正項目・・・除雪工 客土準備（ほ場圧雪、除雪、雪戻し）、客土補助工及び準備費（補助労務） 削除細目・・・鋼床版Uリブ現場現場溶接、モミガラ、混層耕、反転客土、透水渠掘削 	詳細は、新旧対照表による。
2章 土工	2.1 伐開工	3. 区分 <ul style="list-style-type: none"> ・疎密区分の削除 	
	2.2 土工	3. 区分 4. 数量算出方法 <ul style="list-style-type: none"> ・表内、字句の追加、削除、改正（体系化用語の説明、土及び岩の区分表） ・字句の改正（裏込砕石→裏込材） 	
3章 コンクリート工	3.1 コンクリート工	4. 数量算出方法 6. 生コンクリート標準配合表 <ul style="list-style-type: none"> ・字句及び詳細図の削除、改正（ペーラインコンクリートの改正） ・字句の削除（配合表 C-1・C-1P 代表例の一部削除） 	
	3.5 目地・止水板設置工	1. 適用 4. 参考図 <ul style="list-style-type: none"> ・字句及び模式図の追加（天然ゴム） 	
8章 構造物とりこわし工	8.1 構造物とりこわし工	3. 区分 <ul style="list-style-type: none"> ・表内、字句の追加（備考内 注）3の追加） 	
9章 仮設工	9.2 土留・仮締切工	9.2.1 土留・仮締切工 3. 区分 <ul style="list-style-type: none"> ・表の追加及び字句の削除、改正（土のう、大型土のう） 	
	9.3 水替工	3. 区分 <ul style="list-style-type: none"> ・字句の追加（作業時排水） 	
	9.5 足場工	3. 区分 <ul style="list-style-type: none"> ・字句の追加（設置高区分） 	

項目	名称	細目	改正内容
10章 護岸根固め工	10.3 コンクリートブロック積(張)工	3. 区分 ・注釈文の追加 ((1) 数量算出項目及び区分一覧表⑨)	詳細は、新旧対照表による。
13章 道路工	13.8 砂利道路面処理工 (廃止)	・工事積算基準 I~2210 砂利道路面処理工 廃止のため	
	13.9 路面切削工	・番号の改正 13.9 → 13.8	
14章 道路付属施設工	14.3 標識工	3. 区分 ・表内、字句の追加 (白色・景観色)	
	14.4 道路付属施設工	14.4.1 区画線工 3. 区分 4. 数量算出方法 ・字句の追加及び改正	
		14.4.2 縁石工 3. 区分 ・表内、字句の追加 (設置・撤去項目の追加)	
15章 鋼橋上部工	15.5 仮設工	15.5.2 防護設備工 4. 数量算出方法 ・字句の追加 (ワイヤーブリッジ防護工 橋面積計算式)	
		15.5.3 登り栈橋工 4. 数量算出方法 ・字句の改正 (設置箇所数の改正)	
18章 フリューム類据付工	18.1 フリューム類据付工	18.1.1 柵渠工 3. 区分 4. 参考 ・字句の改正 (裏込砕石→裏込材)	
		18.1.13 排水材設置工の追加 ・工事積算基準 F~1540 排水材設置工 新設のため	
19章 管水路工	19.2 管体工	19.2.1 管類布設工 4. 数量算出要領 ・表内、字句の追加、削除、改正 (分類表)	

項目	名称	細目	改正内容
21章 ほ場整備工	21.4 畦畔整形工	4. 数量算出要領 ・詳細図及び計算例の字句、数値の改正	詳細は、新旧対照表による。
	21.5 暗渠排水工	21.5.2 暗渠排水工 3. 区分 ・表内、字句の追加、削除、改正 (補助暗渠排水追加、モミガラ削除)	
	21.6 客土準備工(新設)	・歩掛解析による全面改正(令和6年度歩掛改正)	
22章 農地造成工	22.3 深耕及び反転客土工(廃止)	・工事積算基準 M~1070 深耕及び反転客土 廃止のため	
	22.4 石礫除去 22.5 土壌改良資材散布 22.6 有機質資材散布 22.7 砕土 22.8 耕起及び砕土 22.9 ブルドーザ畑面整地 22.10 鎮圧	・番号の改正 22.4 ~ 22.10 → 22.3 ~ 22.9	
	22.11 心土破碎及び透水渠掘削	・工事積算基準 M~1090 透水渠掘削廃止による字句及び表の削除 ・番号の改正 22.11 → 22.10	
	22.12 播種施肥 22.13 リップドーザ岩掘削 22.14 排根線除去	・番号の改正 22.12 ~ 22.14 → 22.11 ~ 22.13	
	22.15 混層耕(Ⅱ)(廃止)	・工事積算基準 M~2080 混層耕(Ⅱ) 廃止のため	
	22.16 隔障物工 22.17 パドック設置	・番号の改正 22.16 ~ 22.17 → 22.14 ~ 22.15	
	23.4 土量変化率の取り扱い	23.4.2 土工流用の計算例 ・ケース4:大型土のうの詰土に掘削土を流用する場合で標準の土量変化率による場合	

令和7年3月19日以降適用 工事数量算出要領 新旧対照表

- 1章 基本事項
- 2章 土工
- 3章 コンクリート工
- 5章 擁壁工
- 7章 基礎工
- 8章 構造物とりこわし工
- 9章 仮設工
- 10章 護岸根固め工
- 13章 道路工
- 14章 道路附属施設工
- 15章 鋼橋上部工
- 18章 フリューム類据付工
- 19章 管水路工
- 21章 ほ場整備工
- 22章 農地造成工
- 23章 参考資料

改 正						現 行						備 考																																																																																																									
1 章 基本事項						1 章 基本事項																																																																																																															
1.1 適用範囲						1.1 適用範囲																																																																																																															
【省略】						【省略】																																																																																																															
1.9 数量の算出						1.9 数量の算出																																																																																																															
【省略】						【省略】																																																																																																															
別表-1						別表-1																																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>種 別</th> <th>細 目</th> <th>単 位</th> <th>数 位</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">土工</td> <td rowspan="3">掘削工</td> <td>土砂掘削</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td>1000以上は有効3桁</td> </tr> <tr> <td>軟岩掘削</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td>1000以上は有効3桁</td> </tr> <tr> <td>硬岩掘削</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td>1000以上は有効3桁</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	種 別	細 目	単 位	数 位	備 考		土工	掘削工	土砂掘削	m3	1	1000以上は有効3桁	軟岩掘削	m3	1	1000以上は有効3桁	硬岩掘削	m3	1	1000以上は有効3桁	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>種 別</th> <th>細 目</th> <th>単 位</th> <th>数 位</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">土工</td> <td rowspan="3">掘削工</td> <td>土砂掘削</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td>1000以上は有効3桁</td> </tr> <tr> <td>軟岩掘削</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td>1000以上は有効3桁</td> </tr> <tr> <td>硬岩掘削</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td>1000以上は有効3桁</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	種 別	細 目	単 位	数 位	備 考	土工	掘削工	土砂掘削	m3	1	1000以上は有効3桁	軟岩掘削	m3	1	1000以上は有効3桁	硬岩掘削	m3	1	1000以上は有効3桁																																																																	
区 分	種 別	細 目	単 位	数 位	備 考																																																																																																																
土工	掘削工	土砂掘削	m3	1	1000以上は有効3桁																																																																																																																
		軟岩掘削	m3	1	1000以上は有効3桁																																																																																																																
		硬岩掘削	m3	1	1000以上は有効3桁																																																																																																																
区 分	種 別	細 目	単 位	数 位	備 考																																																																																																																
土工	掘削工	土砂掘削	m3	1	1000以上は有効3桁																																																																																																																
		軟岩掘削	m3	1	1000以上は有効3桁																																																																																																																
		硬岩掘削	m3	1	1000以上は有効3桁																																																																																																																
【省略】						【省略】																																																																																																															
<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="5">地盤改良工</td> <td>路床安定処理工</td> <td>路床安定処理</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>置換工</td> <td>置換</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>表層安定処理工</td> <td>安定シート</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>安定処理工</td> <td>安定処理</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>泥水処理工</td> <td>泥水処理</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						地盤改良工	路床安定処理工	路床安定処理	m3	1		置換工	置換	m2	1		表層安定処理工	安定シート	m3	1		安定処理工	安定処理	m2	1		泥水処理工	泥水処理	m3	1		<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="5">地盤改良工</td> <td>路床安定処理工</td> <td>路床安定処理</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>置換工</td> <td>置換</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>表層安定処理工</td> <td>安定シート</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>安定処理工</td> <td>安定処理</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						地盤改良工	路床安定処理工	路床安定処理	m3	1		置換工	置換	m2	1		表層安定処理工	安定シート	m3	1		安定処理工	安定処理	m2	1																																																												
地盤改良工	路床安定処理工	路床安定処理	m3	1																																																																																																																	
	置換工	置換	m2	1																																																																																																																	
	表層安定処理工	安定シート	m3	1																																																																																																																	
	安定処理工	安定処理	m2	1																																																																																																																	
	泥水処理工	泥水処理	m3	1																																																																																																																	
地盤改良工	路床安定処理工	路床安定処理	m3	1																																																																																																																	
	置換工	置換	m2	1																																																																																																																	
	表層安定処理工	安定シート	m3	1																																																																																																																	
	安定処理工	安定処理	m2	1																																																																																																																	
【省略】						【省略】																																																																																																															
<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="3">擁壁工</td> <td rowspan="3">場所打擁壁工 (構造物単位)</td> <td>小型擁壁</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>重力式擁壁</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>もたれ式擁壁</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						擁壁工	場所打擁壁工 (構造物単位)	小型擁壁	m3	1		重力式擁壁	m3	1		もたれ式擁壁	m3	1		<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="3">擁壁工</td> <td rowspan="3">場所打擁壁工 (構造物単位)</td> <td>小型擁壁</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>重力式擁壁</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>もたれ式擁壁</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						擁壁工	場所打擁壁工 (構造物単位)	小型擁壁	m3	1		重力式擁壁	m3	1		もたれ式擁壁	m3	1																																																																															
擁壁工	場所打擁壁工 (構造物単位)	小型擁壁	m3	1																																																																																																																	
		重力式擁壁	m3	1																																																																																																																	
		もたれ式擁壁	m3	1																																																																																																																	
擁壁工	場所打擁壁工 (構造物単位)	小型擁壁	m3	1																																																																																																																	
		重力式擁壁	m3	1																																																																																																																	
		もたれ式擁壁	m3	1																																																																																																																	
【省略】						【省略】																																																																																																															
<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="10">補強土壁工</td> <td rowspan="9">補強土壁基礎</td> <td>補強土壁基礎</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補強土壁壁面材</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補強土壁補強材</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>盛土</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td>1000以上は有効3桁</td> </tr> <tr> <td>ジオテキスタイル補強土壁</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補強盛土</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水管</td> <td>箇所</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>天端コンクリート</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水材設置工</td> <td>排水材設置</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">カルバート工</td> <td rowspan="3">現場打カルバート工 (構造物単位)</td> <td>現場打カルバート</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋</td> <td>ton</td> <td>0.001</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガス圧接</td> <td>箇所</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						補強土壁工	補強土壁基礎	補強土壁基礎	m	1		補強土壁壁面材	m2	1		補強土壁補強材	m	1		盛土	m3	1	1000以上は有効3桁	ジオテキスタイル補強土壁	m2	1		補強盛土	m2	1		排水管	箇所	1		天端コンクリート	m3	1		排水材設置工	排水材設置	m	1		カルバート工	現場打カルバート工 (構造物単位)	現場打カルバート	m3	1		鉄筋	ton	0.001		ガス圧接	箇所	1		<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="10">補強土壁工</td> <td rowspan="9">補強土壁基礎</td> <td>補強土壁基礎</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補強土壁壁面材</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補強土壁補強材</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>盛土</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td>1000以上は有効3桁</td> </tr> <tr> <td>ジオテキスタイル補強土壁</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補強盛土</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水管</td> <td>箇所</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>天端コンクリート</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">カルバート工</td> <td rowspan="3">現場打カルバート工 (構造物単位)</td> <td>現場打カルバート</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋</td> <td>ton</td> <td>0.001</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガス圧接</td> <td>箇所</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						補強土壁工	補強土壁基礎	補強土壁基礎	m	1		補強土壁壁面材	m2	1		補強土壁補強材	m	1		盛土	m3	1	1000以上は有効3桁	ジオテキスタイル補強土壁	m2	1		補強盛土	m2	1		排水管	箇所	1		天端コンクリート	m3	1							カルバート工	現場打カルバート工 (構造物単位)	現場打カルバート	m3	1		鉄筋	ton	0.001		ガス圧接	箇所	1	
補強土壁工	補強土壁基礎	補強土壁基礎	m	1																																																																																																																	
		補強土壁壁面材	m2	1																																																																																																																	
		補強土壁補強材	m	1																																																																																																																	
		盛土	m3	1	1000以上は有効3桁																																																																																																																
		ジオテキスタイル補強土壁	m2	1																																																																																																																	
		補強盛土	m2	1																																																																																																																	
		排水管	箇所	1																																																																																																																	
		天端コンクリート	m3	1																																																																																																																	
		排水材設置工	排水材設置	m	1																																																																																																																
	カルバート工	現場打カルバート工 (構造物単位)	現場打カルバート	m3	1																																																																																																																
鉄筋			ton	0.001																																																																																																																	
ガス圧接			箇所	1																																																																																																																	
補強土壁工	補強土壁基礎	補強土壁基礎	m	1																																																																																																																	
		補強土壁壁面材	m2	1																																																																																																																	
		補強土壁補強材	m	1																																																																																																																	
		盛土	m3	1	1000以上は有効3桁																																																																																																																
		ジオテキスタイル補強土壁	m2	1																																																																																																																	
		補強盛土	m2	1																																																																																																																	
		排水管	箇所	1																																																																																																																	
		天端コンクリート	m3	1																																																																																																																	
	カルバート工	現場打カルバート工 (構造物単位)	現場打カルバート	m3	1																																																																																																																
鉄筋			ton	0.001																																																																																																																	
ガス圧接			箇所	1																																																																																																																	
【省略】						【省略】																																																																																																															
<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="5">プレキャストカルバート工</td> <td rowspan="4">プレキャストボックス</td> <td>プレキャストボックス</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャストパイプ基礎</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャストパイプ</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コルゲートパイプ</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水材設置工</td> <td>排水材設置</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						プレキャストカルバート工	プレキャストボックス	プレキャストボックス	m	1		プレキャストパイプ基礎	m	1		プレキャストパイプ	m	1		コルゲートパイプ	m	1		排水材設置工	排水材設置	m	1		<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="5">プレキャストカルバート工</td> <td rowspan="4">プレキャストボックス</td> <td>プレキャストボックス</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャストパイプ基礎</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャストパイプ</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コルゲートパイプ</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						プレキャストカルバート工	プレキャストボックス	プレキャストボックス	m	1		プレキャストパイプ基礎	m	1		プレキャストパイプ	m	1		コルゲートパイプ	m	1																																																																		
プレキャストカルバート工	プレキャストボックス	プレキャストボックス	m	1																																																																																																																	
		プレキャストパイプ基礎	m	1																																																																																																																	
		プレキャストパイプ	m	1																																																																																																																	
		コルゲートパイプ	m	1																																																																																																																	
	排水材設置工	排水材設置	m	1																																																																																																																	
プレキャストカルバート工	プレキャストボックス	プレキャストボックス	m	1																																																																																																																	
		プレキャストパイプ基礎	m	1																																																																																																																	
		プレキャストパイプ	m	1																																																																																																																	
		コルゲートパイプ	m	1																																																																																																																	
【省略】						【省略】																																																																																																															

表内、字句及び
数値の追加

表内、字句及び
数値の追加

表内、字句及び
数値の追加

新 旧 対 照 表

改 正						現 行						備 考
別表-1						別表-1						表内、字句及び 数値の追加、改正
区分	種別	細目	単位	数値	備考	区分	種別	細目	単位	数値	備考	
仮設工	工事用道路工	(工事用道路盛土)	(m3)	1	1000以上は有効3桁	仮設工	工事用道路工	(工事用道路盛土)	(m3)	1	1000以上は有効3桁	
		(工事用道路切土)	(m3)	1	1000以上は有効3桁			(工事用道路切土)	(m3)	1	1000以上は有効3桁	
		(盛土法面整形)	(m2)	1	1000以上は有効3桁			(盛土法面整形)	(m2)	1	1000以上は有効3桁	
【省略】						【省略】						
除雪工		(工事区域内除雪)	(m3)	1	1000以上は有効3桁	除雪工		(工事区域内除雪)	(m3)	1	1000以上は有効3桁	
		(現場運搬路除雪)	(km)	0.1				(現場運搬路除雪)	(km)	0.1		
		(<u>ほ場圧雪(坪置き箇所のみ)</u>)	(m3)	1	1000以上は有効3桁			(<u>土取場・堆積場除雪</u>)	(m3)	1	1000以上は有効3桁	
		(<u>ほ場圧雪</u>)	(ha)	1				(<u>ほ場除雪</u>)	(m3)	1	1000以上は有効3桁	
		(<u>ほ場除雪(全面)</u>)	(ha)	0.01				(<u>ほ場道つけ</u>)	(ha)	0.01		
		(<u>ほ場雪戻し(全面)</u>)	(ha)	0.01								
【省略】						【省略】						
客土補助工	客土補助工	<u>土場付補助労務</u>	(人)	1		客土補助工	客土補助工	<u>土取り場付人夫</u>	(人)	1		
		中継所補助労務	(人)	1				中継所人夫	(人)	1		
	交通管理工	交通誘導警備員	(人)	1		交通管理工	交通誘導警備員	(人)	1			
		機械誘導員	(人)	1			機械誘導員	(人)	1			
共通仮設工	事業損失防止施設費	家屋調査費	件	1		共通仮設工	事業損失防止施設費	家屋調査費	件	1		
		騒音調査費	箇所	1				騒音調査費	箇所	1		
		振動調査費	箇所	1				振動調査費	箇所	1		
【省略】						【省略】						
準備費		(伐開・伐木・除根)	(m2)	1		準備費		(伐開・伐木・除根)	(m2)	1		
		(伐開物運搬)	(m2)	1				(伐開物運搬)	(m2)	1		
		(すき取り選別)	(m2)	1				(すき取り選別)	(m2)	1		
		(着工時除雪費)	(m2)	1				(着工時除雪費)	(m2)	1		
		農用地除根・排根	ha	0.01				農用地除根・排根	ha	0.01		
		農用地残根処理	ha	0.01				農用地残根処理	ha	0.01		
		農用地伐開	ha	0.01				農用地伐開	ha	0.01		
		土取場伐開、除根、排根	式	1				土取場伐開、除根、排根	式	1		
		道路清掃補助労務	(人)	1				道路清掃人夫	(人)	1		
【省略】						【省略】						
【省略】						【省略】						表内、字句の改正

新 旧 対 照 表

改 正						現 行						備 考		
別表-1						別表-1						表内、字句及び数値の追加、削除		
区分	種別	細目	単位	数値	備考	区分	種別	細目	単位	数値	備考			
路盤・舗装工	舗装準備工	不陸整正	m2	1	1000以上は有効3桁	路盤・舗装工	舗装準備工	不陸整正	m2	1	1000以上は有効3桁			
		補足材	m3	1				補足材	m3	1				
		型枠	(m2)					型枠	(m2)					
		調整コンクリート	m3	1				調整コンクリート	m3	1				
	車道路路盤工	凍上抑制層	m2	1			車道路路盤工	凍上抑制層	m2	1				
		下層路盤	m2	1				下層路盤	m2	1				
		上層路盤	m2	1				上層路盤	m2	1				
		装甲路肩路盤	m2	1				装甲路肩路盤	m2	1				
	歩道路路盤工	凍上抑制層	m2	1			歩道路路盤工	凍上抑制層	m2	1				
		下層路盤	m2	1				下層路盤	m2	1				
		上層路盤	m2	1				上層路盤	m2	1				
	取付道路路盤工	凍上抑制層	m2	1			取付道路路盤工	凍上抑制層	m2	1				
		下層路盤	m2	1				下層路盤	m2	1				
		上層路盤	m2	1				上層路盤	m2	1				
	_____	_____	_____	_____	_____		_____	_____	_____	_____	_____		_____	_____
	車道アスファルト舗装工	基層	m2	1			車道アスファルト舗装工	基層	m2	1				
		表層	m2	1				表層	m2	1				
		表層(装甲路肩部)	m2	1				表層(装甲路肩部)	m2	1				
	歩道アスファルト舗装工	表層	m2	1			歩道アスファルト舗装工	表層	m2	1				
	保護路肩舗装工	保護路肩表層処理	m2	1			保護路肩舗装工	保護路肩表層処理	m2	1				
取付道路アスファルト舗装工	表層	m2	1		取付道路アスファルト舗装工	表層	m2	1						
コンクリート舗装工	コンクリート舗装	m2	1		コンクリート舗装工	コンクリート舗装	m2	1						
	転圧コンクリート舗装	m	1			転圧コンクリート舗装	m	1						
	目地材	m	1			目地材	m	1						
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____			
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____			
耕作道路工	耕作道路路盤	m2	1		耕作道路工	耕作道路路盤	m2	1						
舗装版削孔工	舗装版削孔(アスファルト舗装版)	孔	1		_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____			
【省略】						【省略】						表内、字句及び数値の削除		
別表-1						別表-1								
区分	種別	細目	単位	数値	備考	区分	種別	細目	単位	数値	備考			
橋梁上部工	製作工	製作(本体)	式	1		橋梁上部工	製作工	製作(本体)	式	1				
		製作(付属物)	式	1				製作(付属物)	式	1				
【省略】						【省略】								
床版工	鋼床版現場溶接	_____	式	1		床版工	鋼床版現場溶接	_____	式	1				
		鉄筋	ton	0.001				鋼床版Uリブ現場溶接	個	1				
		ガス圧接	箇所	1				鉄筋	ton	0.001				
		床版型枠	(m2)	1				ガス圧接	箇所	1				
		埋設型枠	(m2)	1				床版型枠	(m2)	1				
		床版コンクリート	m3	1				埋設型枠	(m2)	1				
		床版養生	m2	1				床版コンクリート	m3	1				
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____			
【省略】						【省略】								

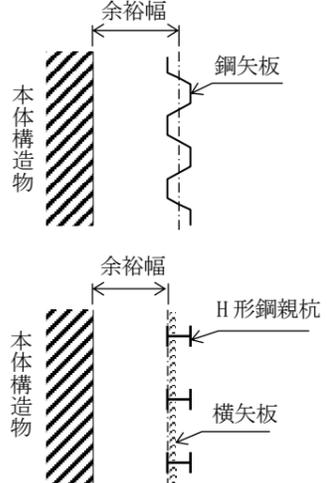
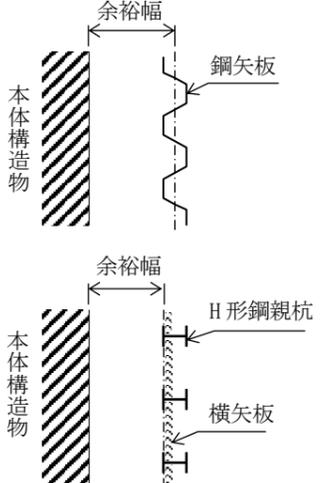
新 旧 対 照 表

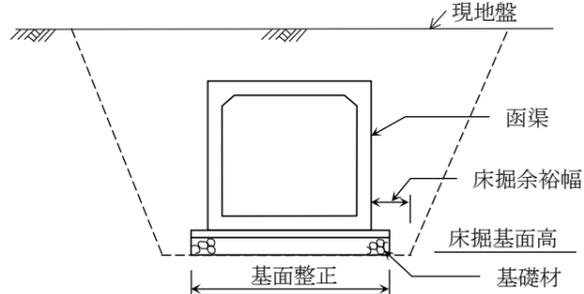
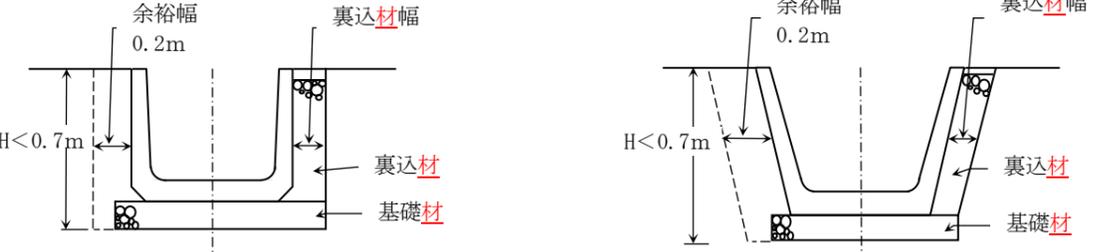
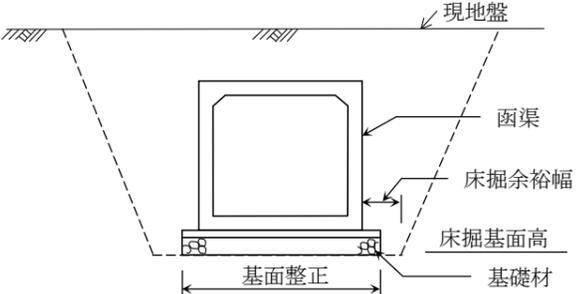
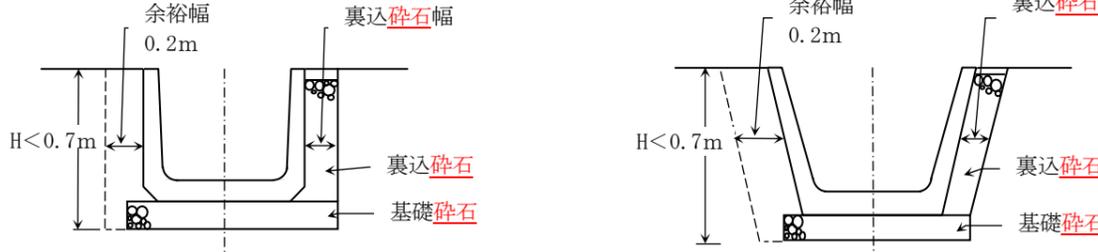
改 正						現 行						備 考
別表-1						別表-1						表内、字句及び 数値の追加
区分	種別	細目	単位	数値	備考	区分	種別	細目	単位	数値	備考	
橋梁下部工	橋台躯体工(構造物単位)	逆T式橋台	m3	1		橋梁下部工	橋台躯体工(構造物単位)	逆T式橋台	m3	1		
		鉄筋	ton	0.001				鉄筋	ton	0.001		
		ガス圧接	箇所	1				ガス圧接	箇所	1		
		裏込材	m3	1				裏込材	m3	1		
		目地板	m2	1				目地板	m2	1		
	橋台躯体工	基礎材	m3	1		橋台躯体工	基礎材	m3	1			
		型枠	(m2)	1			型枠	(m2)	1			
		均しコンクリート	m3	1			均しコンクリート	m3	1			
【省略】					【省略】							
		コンクリート	m3	1				コンクリート	m3	1		表内、字句及び 数値の追加
		裏込材	m3	1				裏込材	m3	1		
【省略】		排水材設置工	m	1		【省略】						
別表-1						別表-1						
区分	種別	細目	単位	数値	備考	区分	種別	細目	単位	数値	備考	
農用地整備工	整地工	ほ場整地(標準切盛)	ha	0.01		農用地整備工	整地工	ほ場整地(標準切盛)	ha	0.01		
		ほ場整地(突均し)	ha	0.01				ほ場整地(突均し)	ha	0.01		
		ほ場整地(均平)	ha	0.01				ほ場整地(均平)	ha	0.01		
【省略】					【省略】							
	客土準備工	土取場表土扱い	m	1			客土準備工	土取場表土扱い	m	1		
	客土帯置工	客土帯置	m3	1	1000以上は有効3桁							
	客土工(大運搬工)	客土運搬	m3	1	1000以上は有効3桁		客土工(大運搬工)	客土運搬	m3	1	1000以上は有効3桁	
	客土工(小運搬工)	ほ場内小運搬	m3	1	1000以上は有効3桁		客土工(小運搬工)	ほ場内小運搬	m3	1	1000以上は有効3桁	
		堆積場整理	m3	1	1000以上は有効3桁			堆積場整理	m3	1	1000以上は有効3桁	
		放下整理	m3	1	1000以上は有効3桁			放下整理	m3	1	1000以上は有効3桁	
	暗渠排水工	吸水渠	m	1			暗渠排水工	吸水渠	m	1		
		集水渠	m	1				集水渠	m	1		
		連絡渠	m	1				連絡渠	m	1		
								モミガラ	m3	1	1000以上は有効3桁	
	補助暗渠工	補助暗渠	m	1								
	暗渠排水付属物工	水閘管	組	1			暗渠排水付属物工	水閘管	組	1		
		管理閘	組	1				管理閘	組	1		
【省略】						【省略】						
	石礫除去工	採礫	m3	1	1000以上は有効3桁		石礫除去工	採礫	m3	1	1000以上は有効3桁	表内、字句及び 数値の削除
		運搬	m3	1	1000以上は有効3桁			運搬	m3	1	1000以上は有効3桁	
		捨土均し	m3	1	1000以上は有効3桁			捨土均し	m3	1	1000以上は有効3桁	
		畑面整地	ha	0.01				畑面整地	ha	0.01		
	基盤改良工						基盤改良工	深耕	ha	0.01		
								反転客土	ha	0.01		
		心土破碎	ha	0.01				心土破碎	ha	0.01		
								透水渠掘削	ha	0.01		
【省略】						【省略】						

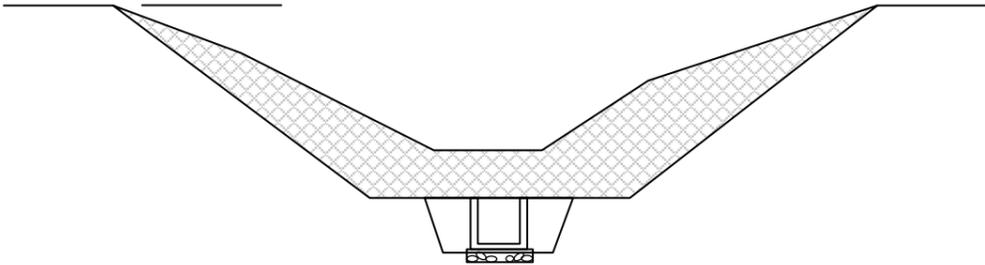
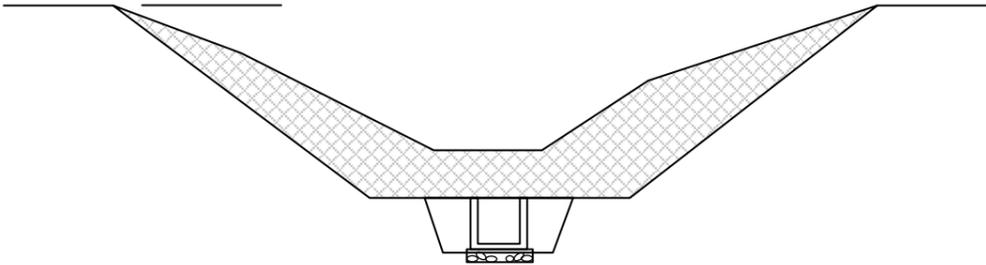
改 正													現 行													備 考		
<p>2.2 土工</p> <p>2.2.1 土工</p> <p>1 適用</p> <p>【省略】</p> <p>3 区分</p> <p>区分は、土質、構造物、施工形態、土留方式の種類、障害の有無、水陸とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <p>【省略】</p> <p>土工積算の解説</p> <p>一般事項</p> <p>体系化用語の説明</p>														<p>2.2 土工</p> <p>2.2.1 土工</p> <p>1 適用</p> <p>【省略】</p> <p>3 区分</p> <p>区分は、土質、構造物、施工形態、土留方式の種類、障害の有無、水陸とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <p>【省略】</p> <p>土工積算の解説</p> <p>一般事項</p> <p>体系化用語の説明</p>														<p>表内、字句の追加及び改正</p>
種別名称	細別名称	積算上の分類	積算上の分類ごとの内容										○は、各積算上の分類に計上する作業 △は、必要に応じて積算に計上する作業	種別名称	細別名称	積算上の分類	積算上の分類ごとの内容										○は、各積算上の分類に計上する作業 △は、必要に応じて積算に計上する作業	
掘削工	土砂掘削 軟岩掘削 硬岩掘削 (床掘)	流用土	I	掘削してその土を自工区に流用するが、流用箇所への運搬を伴わないもの	○																		①					
			II	掘削してその土を自工区流用箇所へ運搬するもので、仮置場を経由しないもの	○	○																			①+②			
			III	掘削してその土を自工区流用箇所へ運搬するもので、仮置場を経由するもの	○	○	△																			①+⑤+(13)		
		発生土	I	掘削してその土を他工区流用箇所へ運搬するもので、仮置場へ運搬しない場合	○	○																				①+③		
			II	掘削してその土を他工区流用箇所へ運搬するもので、仮置場へ運搬する場合	○	○	△	○																		①+⑤+(13) ⑭+⑦		
			残土	I	掘削してその土を残土受入地へ運搬するもので、仮置場を経由しないもの	○	○																		△	△	①+④+(15) +(16)	
	II	掘削してその土を残土受入地へ運搬するもので、仮置場を経由するもの		○	○	△	○					○	△											△	△	①+⑤+(13) +⑭+⑧+ ⑮+(16)		
	盛土工	路体・路床盛土	流用土	I	自工区の土で盛土するもので仮置場を経由しないもの																				⑨			
				II	自工区の土で盛土するもので仮置場を経由するもの		○	○	○	○	△																⑭+⑥+⑨	
		採取土	発生土	他工区から運搬した土で盛土するもの	△	△					○	△														(12)+⑨		
採取土			土取場から運搬した土で盛土するもの	△	△					○	△															⑩+⑫+⑨		
購入土	購入した土で盛土するもの	△	△					○	△															⑪+(12)+⑨				
【続き有り】														【続き有り】														

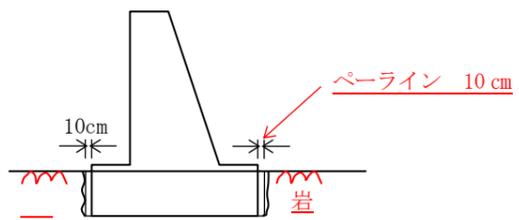
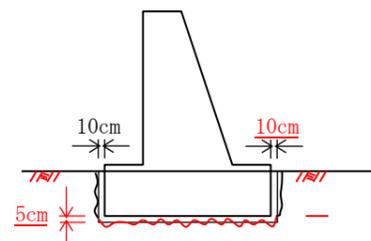
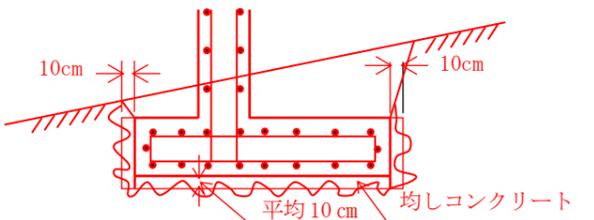
新 旧 対 照 表

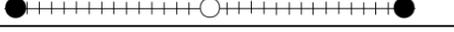
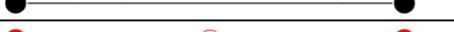
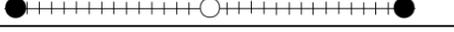
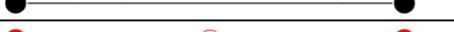
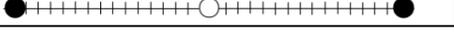
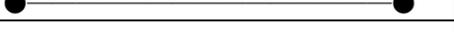
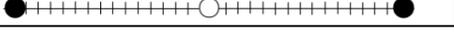
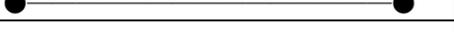
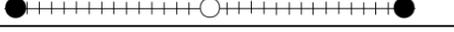
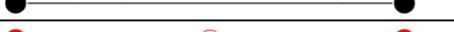
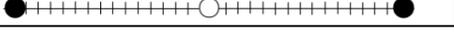
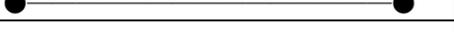
改 正				現 行				備 考																																																																																																																																								
(2) 土質区分 土質による区分は、次表のとおりとする。区分はC分類を標準とするが、土砂については、細分化が難しい場合はB分類として良い。 土及び岩の区分表				(2) 土質区分 土質による区分は、次表のとおりとする。区分はC分類を標準とするが、土砂については、細分化が難しい場合はB分類として良い。 土及び岩の区分表				表内、字句の追加及び改正																																																																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">区 分</th> <th rowspan="2">説 明</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">土</td> <td rowspan="2">火山灰土</td> <td>未風化火山灰土</td> <td>締固めにより強度が増加する透水性の軽石質、砂礫類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>風化火山灰土</td> <td>(押土、ゆさぶり、敷均し、締固め等)こね返しにより強度が低下するもの。</td> <td>高含水粘性土状を呈する軽石質、砂礫類の風化土</td> </tr> <tr> <td>礫質土</td> <td>礫混じり土</td> <td>礫の混入があつて掘削時の能率が低下するもの。</td> <td>礫の多い砂、礫の多い砂質土、礫の多い粘性土</td> <td>礫(G) 礫質土(GF)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">砂質土及び砂</td> <td>砂</td> <td>バケツ等に山盛り形状になりにくいもの。</td> <td>海岸砂丘の砂、マサ土</td> <td>砂(S)</td> </tr> <tr> <td>砂質土(普通土)</td> <td>掘削が容易で、バケツ等に山盛り形状にし易く空隙の少ないもの。</td> <td>砂質土、マサ土、粒度分布の良い砂、条件の良いローム</td> <td>砂(S) 砂質土(SF) シルト(M)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">粘性土</td> <td>粘性土</td> <td>バケツ等に付着し易く空隙の多い状態になりやすいもの。トラフィカビリティが問題となり易いもの。</td> <td>ローム、粘性土</td> <td>シルト(M) 粘性土(C)</td> </tr> <tr> <td>高含水比粘性土</td> <td>バケツ等に付着し易く特にトラフィカビリティが悪いもの。</td> <td>条件の悪いローム、条件の悪い粘性土、火山灰質粘性土</td> <td>シルト(M) 粘性土(C) 火山灰質粘性土(V) 有機質土(O)</td> </tr> <tr> <td>泥炭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>泥炭(Pt)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">岩及び石</td> <td colspan="2">岩塊、玉石</td> <td>岩塊、玉石が混入して掘削しにくく、バケツ等に空隙のでき易いもの。岩塊、玉石は粒径7.5cm以上とし、丸味のあるのを玉石とする。</td> <td>玉石混じり土、岩塊破碎された岩、ごろごろした河床</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">軟岩</td> <td>軟</td> <td>第三紀の岩石で団結の程度が弱いもの。風化がはなはだしく極めてもろいもの。指先で離し得る程度のもので亀裂の間隔は1~5cmくらいのもの、及び第三紀の岩石で固結の程度が良好なもの。風化が相当進み多少変色を伴い軽い打撃で容易に割れるもの、離れ易いもので、亀裂間隔は5~10cm程度のもの。</td> <td><u>軟岩Ⅰ(WR₁)</u></td> </tr> <tr> <td>岩</td> <td>凝灰質で強く固結しているもの。風化が目に沿って相当進んでいるもの。キ裂間隔が10~30cm程度で軽い打撃により離し得る程度、異質の硬い互層を成すもので層面を楽に離し得るもの。</td> <td><u>軟岩Ⅱ(WR₂)</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">硬岩</td> <td colspan="2">中硬岩</td> <td>石灰石、多孔質安山岩のように特に緻密でなくても相当の硬さを有するもの。風化の程度があまり進んでいないもの。硬い岩石で間隔が30~50cm程度の亀裂を有するもの。</td> <td><u>中硬岩(MR)</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">硬岩</td> <td>I</td> <td>花崗岩、結晶片岩などで全く変化していないもの。亀裂間隔が1m内外で相当密着しているもの。硬い良好な石材を取り得るようなもの。</td> <td><u>硬岩Ⅰ(HR₁)</u></td> </tr> <tr> <td>II</td> <td>けい岩、角岩など石英質に富む岩質で最も硬いもの。風化していない新鮮な状態のもの。亀裂が少なくよく密着しているもの。</td> <td><u>硬岩Ⅱ(HR₂)</u></td> </tr> </tbody> </table>				区 分			説 明		摘 要	A	B	C	土	火山灰土	未風化火山灰土	締固めにより強度が増加する透水性の軽石質、砂礫類		風化火山灰土	(押土、ゆさぶり、敷均し、締固め等)こね返しにより強度が低下するもの。	高含水粘性土状を呈する軽石質、砂礫類の風化土	礫質土	礫混じり土	礫の混入があつて掘削時の能率が低下するもの。	礫の多い砂、礫の多い砂質土、礫の多い粘性土	礫(G) 礫質土(GF)	砂質土及び砂	砂	バケツ等に山盛り形状になりにくいもの。	海岸砂丘の砂、マサ土	砂(S)	砂質土(普通土)	掘削が容易で、バケツ等に山盛り形状にし易く空隙の少ないもの。	砂質土、マサ土、粒度分布の良い砂、条件の良いローム	砂(S) 砂質土(SF) シルト(M)	粘性土	粘性土	バケツ等に付着し易く空隙の多い状態になりやすいもの。トラフィカビリティが問題となり易いもの。	ローム、粘性土	シルト(M) 粘性土(C)	高含水比粘性土	バケツ等に付着し易く特にトラフィカビリティが悪いもの。	条件の悪いローム、条件の悪い粘性土、火山灰質粘性土	シルト(M) 粘性土(C) 火山灰質粘性土(V) 有機質土(O)	泥炭				泥炭(Pt)	岩及び石	岩塊、玉石		岩塊、玉石が混入して掘削しにくく、バケツ等に空隙のでき易いもの。岩塊、玉石は粒径7.5cm以上とし、丸味のあるのを玉石とする。	玉石混じり土、岩塊破碎された岩、ごろごろした河床	軟岩	軟	第三紀の岩石で団結の程度が弱いもの。風化がはなはだしく極めてもろいもの。指先で離し得る程度のもので亀裂の間隔は1~5cmくらいのもの、及び第三紀の岩石で固結の程度が良好なもの。風化が相当進み多少変色を伴い軽い打撃で容易に割れるもの、離れ易いもので、亀裂間隔は5~10cm程度のもの。	<u>軟岩Ⅰ(WR₁)</u>	岩	凝灰質で強く固結しているもの。風化が目に沿って相当進んでいるもの。キ裂間隔が10~30cm程度で軽い打撃により離し得る程度、異質の硬い互層を成すもので層面を楽に離し得るもの。	<u>軟岩Ⅱ(WR₂)</u>	硬岩	中硬岩		石灰石、多孔質安山岩のように特に緻密でなくても相当の硬さを有するもの。風化の程度があまり進んでいないもの。硬い岩石で間隔が30~50cm程度の亀裂を有するもの。	<u>中硬岩(MR)</u>	硬岩	I	花崗岩、結晶片岩などで全く変化していないもの。亀裂間隔が1m内外で相当密着しているもの。硬い良好な石材を取り得るようなもの。	<u>硬岩Ⅰ(HR₁)</u>	II	けい岩、角岩など石英質に富む岩質で最も硬いもの。風化していない新鮮な状態のもの。亀裂が少なくよく密着しているもの。	<u>硬岩Ⅱ(HR₂)</u>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">区 分</th> <th rowspan="2">説 明</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">土</td> <td rowspan="2">火山灰土</td> <td>未風化火山灰土</td> <td>締固めにより強度が増加する透水性の軽石質、砂礫類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>風化火山灰土</td> <td>(押土、ゆさぶり、敷均し、締固め等)こね返しにより強度が低下するもの。</td> <td>高含水粘性土状を呈する軽石質、砂礫類の風化土</td> </tr> <tr> <td>礫質土</td> <td>礫混じり土</td> <td>礫の混入があつて掘削時の能率が低下するもの。</td> <td>礫の多い砂、礫の多い砂質土、礫の多い粘性土</td> <td>礫(G) 礫質土(GF)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">砂質土及び砂</td> <td>砂</td> <td>バケツ等に山盛り形状になりにくいもの。</td> <td>海岸砂丘の砂、マサ土</td> <td>砂(S)</td> </tr> <tr> <td>砂質土(普通土)</td> <td>掘削が容易で、バケツ等に山盛り形状にし易く空隙の少ないもの。</td> <td>砂質土、マサ土、粒度分布の良い砂、条件の良いローム</td> <td>砂(S) 砂質土(SF) シルト(M)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">粘性土</td> <td>粘性土</td> <td>バケツ等に付着し易く空隙の多い状態になりやすいもの。トラフィカビリティが問題となり易いもの。</td> <td>ローム、粘性土</td> <td>シルト(M) 粘性土(C)</td> </tr> <tr> <td>高含水比粘性土</td> <td>バケツ等に付着し易く特にトラフィカビリティが悪いもの。</td> <td>条件の悪いローム、条件の悪い粘性土、火山灰質粘性土</td> <td>シルト(M) 粘性土(C) 火山灰質粘性土(V) 有機質土(O)</td> </tr> <tr> <td>泥炭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>泥炭(Pt)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">岩及び石</td> <td colspan="2">岩塊、玉石</td> <td>岩塊、玉石が混入して掘削しにくく、バケツ等に空隙のでき易いもの。岩塊、玉石は粒径7.5cm以上とし、丸味のあるのを玉石とする。</td> <td>玉石混じり土、岩塊破碎された岩、ごろごろした河床</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">軟岩</td> <td>軟</td> <td>第三紀の岩石で団結の程度が弱いもの。風化がはなはだしく極めてもろいもの。指先で離し得る程度のもので亀裂の間隔は1~5cmくらいのもの、及び第三紀の岩石で固結の程度が良好なもの。風化が相当進み多少変色を伴い軽い打撃で容易に割れるもの、離れ易いもので、亀裂間隔は5~10cm程度のもの。</td> <td><u>軟岩Ⅰ(WR₁)</u></td> </tr> <tr> <td>岩</td> <td>凝灰質で強く固結しているもの。風化が目に沿って相当進んでいるもの。キ裂間隔が10~30cm程度で軽い打撃により離し得る程度、異質の硬い互層を成すもので層面を楽に離し得るもの。</td> <td><u>軟岩Ⅱ(WR₂)</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">硬岩</td> <td colspan="2">中硬岩</td> <td>石灰石、多孔質安山岩のように特に緻密でなくても相当の硬さを有するもの。風化の程度があまり進んでいないもの。硬い岩石で間隔が30~50cm程度の亀裂を有するもの。</td> <td><u>軟岩Ⅱ(WR₂)</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">硬岩</td> <td>I</td> <td>花崗岩、結晶片岩などで全く変化していないもの。亀裂間隔が1m内外で相当密着しているもの。硬い良好な石材を取り得るようなもの。</td> <td><u>軟岩Ⅱ(WR₂)</u></td> </tr> <tr> <td>II</td> <td>けい岩、角岩など石英質に富む岩質で最も硬いもの。風化していない新鮮な状態のもの。亀裂が少なくよく密着しているもの。</td> <td><u>軟岩Ⅱ(WR₂)</u></td> </tr> </tbody> </table>				区 分			説 明	摘 要	A	B	C	土	火山灰土	未風化火山灰土	締固めにより強度が増加する透水性の軽石質、砂礫類		風化火山灰土	(押土、ゆさぶり、敷均し、締固め等)こね返しにより強度が低下するもの。	高含水粘性土状を呈する軽石質、砂礫類の風化土	礫質土	礫混じり土	礫の混入があつて掘削時の能率が低下するもの。	礫の多い砂、礫の多い砂質土、礫の多い粘性土	礫(G) 礫質土(GF)	砂質土及び砂	砂	バケツ等に山盛り形状になりにくいもの。	海岸砂丘の砂、マサ土	砂(S)	砂質土(普通土)	掘削が容易で、バケツ等に山盛り形状にし易く空隙の少ないもの。	砂質土、マサ土、粒度分布の良い砂、条件の良いローム	砂(S) 砂質土(SF) シルト(M)	粘性土	粘性土	バケツ等に付着し易く空隙の多い状態になりやすいもの。トラフィカビリティが問題となり易いもの。	ローム、粘性土	シルト(M) 粘性土(C)	高含水比粘性土	バケツ等に付着し易く特にトラフィカビリティが悪いもの。	条件の悪いローム、条件の悪い粘性土、火山灰質粘性土	シルト(M) 粘性土(C) 火山灰質粘性土(V) 有機質土(O)	泥炭				泥炭(Pt)	岩及び石	岩塊、玉石		岩塊、玉石が混入して掘削しにくく、バケツ等に空隙のでき易いもの。岩塊、玉石は粒径7.5cm以上とし、丸味のあるのを玉石とする。	玉石混じり土、岩塊破碎された岩、ごろごろした河床	軟岩	軟	第三紀の岩石で団結の程度が弱いもの。風化がはなはだしく極めてもろいもの。指先で離し得る程度のもので亀裂の間隔は1~5cmくらいのもの、及び第三紀の岩石で固結の程度が良好なもの。風化が相当進み多少変色を伴い軽い打撃で容易に割れるもの、離れ易いもので、亀裂間隔は5~10cm程度のもの。	<u>軟岩Ⅰ(WR₁)</u>	岩	凝灰質で強く固結しているもの。風化が目に沿って相当進んでいるもの。キ裂間隔が10~30cm程度で軽い打撃により離し得る程度、異質の硬い互層を成すもので層面を楽に離し得るもの。	<u>軟岩Ⅱ(WR₂)</u>	硬岩	中硬岩		石灰石、多孔質安山岩のように特に緻密でなくても相当の硬さを有するもの。風化の程度があまり進んでいないもの。硬い岩石で間隔が30~50cm程度の亀裂を有するもの。	<u>軟岩Ⅱ(WR₂)</u>	硬岩	I	花崗岩、結晶片岩などで全く変化していないもの。亀裂間隔が1m内外で相当密着しているもの。硬い良好な石材を取り得るようなもの。	<u>軟岩Ⅱ(WR₂)</u>	II	けい岩、角岩など石英質に富む岩質で最も硬いもの。風化していない新鮮な状態のもの。亀裂が少なくよく密着しているもの。	<u>軟岩Ⅱ(WR₂)</u>
区 分			説 明	摘 要																																																																																																																																												
A	B	C																																																																																																																																														
土	火山灰土	未風化火山灰土	締固めにより強度が増加する透水性の軽石質、砂礫類																																																																																																																																													
		風化火山灰土	(押土、ゆさぶり、敷均し、締固め等)こね返しにより強度が低下するもの。	高含水粘性土状を呈する軽石質、砂礫類の風化土																																																																																																																																												
	礫質土	礫混じり土	礫の混入があつて掘削時の能率が低下するもの。	礫の多い砂、礫の多い砂質土、礫の多い粘性土	礫(G) 礫質土(GF)																																																																																																																																											
	砂質土及び砂	砂	バケツ等に山盛り形状になりにくいもの。	海岸砂丘の砂、マサ土	砂(S)																																																																																																																																											
		砂質土(普通土)	掘削が容易で、バケツ等に山盛り形状にし易く空隙の少ないもの。	砂質土、マサ土、粒度分布の良い砂、条件の良いローム	砂(S) 砂質土(SF) シルト(M)																																																																																																																																											
	粘性土	粘性土	バケツ等に付着し易く空隙の多い状態になりやすいもの。トラフィカビリティが問題となり易いもの。	ローム、粘性土	シルト(M) 粘性土(C)																																																																																																																																											
		高含水比粘性土	バケツ等に付着し易く特にトラフィカビリティが悪いもの。	条件の悪いローム、条件の悪い粘性土、火山灰質粘性土	シルト(M) 粘性土(C) 火山灰質粘性土(V) 有機質土(O)																																																																																																																																											
泥炭				泥炭(Pt)																																																																																																																																												
岩及び石	岩塊、玉石		岩塊、玉石が混入して掘削しにくく、バケツ等に空隙のでき易いもの。岩塊、玉石は粒径7.5cm以上とし、丸味のあるのを玉石とする。	玉石混じり土、岩塊破碎された岩、ごろごろした河床																																																																																																																																												
	軟岩	軟	第三紀の岩石で団結の程度が弱いもの。風化がはなはだしく極めてもろいもの。指先で離し得る程度のもので亀裂の間隔は1~5cmくらいのもの、及び第三紀の岩石で固結の程度が良好なもの。風化が相当進み多少変色を伴い軽い打撃で容易に割れるもの、離れ易いもので、亀裂間隔は5~10cm程度のもの。	<u>軟岩Ⅰ(WR₁)</u>																																																																																																																																												
		岩	凝灰質で強く固結しているもの。風化が目に沿って相当進んでいるもの。キ裂間隔が10~30cm程度で軽い打撃により離し得る程度、異質の硬い互層を成すもので層面を楽に離し得るもの。	<u>軟岩Ⅱ(WR₂)</u>																																																																																																																																												
	硬岩	中硬岩		石灰石、多孔質安山岩のように特に緻密でなくても相当の硬さを有するもの。風化の程度があまり進んでいないもの。硬い岩石で間隔が30~50cm程度の亀裂を有するもの。	<u>中硬岩(MR)</u>																																																																																																																																											
		硬岩	I	花崗岩、結晶片岩などで全く変化していないもの。亀裂間隔が1m内外で相当密着しているもの。硬い良好な石材を取り得るようなもの。	<u>硬岩Ⅰ(HR₁)</u>																																																																																																																																											
			II	けい岩、角岩など石英質に富む岩質で最も硬いもの。風化していない新鮮な状態のもの。亀裂が少なくよく密着しているもの。	<u>硬岩Ⅱ(HR₂)</u>																																																																																																																																											
区 分			説 明	摘 要																																																																																																																																												
A	B	C																																																																																																																																														
土	火山灰土	未風化火山灰土	締固めにより強度が増加する透水性の軽石質、砂礫類																																																																																																																																													
		風化火山灰土	(押土、ゆさぶり、敷均し、締固め等)こね返しにより強度が低下するもの。	高含水粘性土状を呈する軽石質、砂礫類の風化土																																																																																																																																												
	礫質土	礫混じり土	礫の混入があつて掘削時の能率が低下するもの。	礫の多い砂、礫の多い砂質土、礫の多い粘性土	礫(G) 礫質土(GF)																																																																																																																																											
	砂質土及び砂	砂	バケツ等に山盛り形状になりにくいもの。	海岸砂丘の砂、マサ土	砂(S)																																																																																																																																											
		砂質土(普通土)	掘削が容易で、バケツ等に山盛り形状にし易く空隙の少ないもの。	砂質土、マサ土、粒度分布の良い砂、条件の良いローム	砂(S) 砂質土(SF) シルト(M)																																																																																																																																											
	粘性土	粘性土	バケツ等に付着し易く空隙の多い状態になりやすいもの。トラフィカビリティが問題となり易いもの。	ローム、粘性土	シルト(M) 粘性土(C)																																																																																																																																											
		高含水比粘性土	バケツ等に付着し易く特にトラフィカビリティが悪いもの。	条件の悪いローム、条件の悪い粘性土、火山灰質粘性土	シルト(M) 粘性土(C) 火山灰質粘性土(V) 有機質土(O)																																																																																																																																											
泥炭				泥炭(Pt)																																																																																																																																												
岩及び石	岩塊、玉石		岩塊、玉石が混入して掘削しにくく、バケツ等に空隙のでき易いもの。岩塊、玉石は粒径7.5cm以上とし、丸味のあるのを玉石とする。	玉石混じり土、岩塊破碎された岩、ごろごろした河床																																																																																																																																												
	軟岩	軟	第三紀の岩石で団結の程度が弱いもの。風化がはなはだしく極めてもろいもの。指先で離し得る程度のもので亀裂の間隔は1~5cmくらいのもの、及び第三紀の岩石で固結の程度が良好なもの。風化が相当進み多少変色を伴い軽い打撃で容易に割れるもの、離れ易いもので、亀裂間隔は5~10cm程度のもの。	<u>軟岩Ⅰ(WR₁)</u>																																																																																																																																												
		岩	凝灰質で強く固結しているもの。風化が目に沿って相当進んでいるもの。キ裂間隔が10~30cm程度で軽い打撃により離し得る程度、異質の硬い互層を成すもので層面を楽に離し得るもの。	<u>軟岩Ⅱ(WR₂)</u>																																																																																																																																												
	硬岩	中硬岩		石灰石、多孔質安山岩のように特に緻密でなくても相当の硬さを有するもの。風化の程度があまり進んでいないもの。硬い岩石で間隔が30~50cm程度の亀裂を有するもの。	<u>軟岩Ⅱ(WR₂)</u>																																																																																																																																											
		硬岩	I	花崗岩、結晶片岩などで全く変化していないもの。亀裂間隔が1m内外で相当密着しているもの。硬い良好な石材を取り得るようなもの。	<u>軟岩Ⅱ(WR₂)</u>																																																																																																																																											
			II	けい岩、角岩など石英質に富む岩質で最も硬いもの。風化していない新鮮な状態のもの。亀裂が少なくよく密着しているもの。	<u>軟岩Ⅱ(WR₂)</u>																																																																																																																																											
【省略】				【省略】																																																																																																																																												

改 正	現 行	備 考																																																										
<p>4 数量算出方法 数量の算出は、「1章 基本事項」によるほか次の方法によるものとする。 平均断面法によることを標準とする。 土量＝平均断面積×延長 法面積＝平均法長×延長</p> <p>(1) 施工方法 【省略】</p> <p>(3) 床掘 1) 床掘勾配 【省略】 2) 床掘余裕幅、床掘基面 床掘余裕幅は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">床掘余裕幅</p> <table border="1" data-bbox="192 693 1023 1228"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 別</th> <th rowspan="2">足場工の有無</th> <th colspan="2">余裕幅</th> </tr> <tr> <th>(水替なし)</th> <th>(水替あり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">オープン掘削</td> <td>足場工なし</td> <td>50cm</td> <td>100cm</td> </tr> <tr> <td>足場工あり</td> <td>170cm</td> <td>170cm</td> </tr> <tr> <td>足場工あり (フーチング高さ 2m未満 でフーチング上に足場を設 置する場合)</td> <td>50cm</td> <td>100cm</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">土留掘削</td> <td>足場工なし</td> <td>100cm</td> <td>100cm</td> </tr> <tr> <td>足場工なし(プレキャスト構 造物で自立型土留めの場合)</td> <td>70cm</td> <td>100cm</td> </tr> <tr> <td>足場工あり</td> <td>220cm</td> <td>220cm</td> </tr> <tr> <td>足場工あり (フーチング高さ 2m未満 でフーチング上に足場を設 置する場合)</td> <td>100cm</td> <td>100cm</td> </tr> </tbody> </table>  <p>注) 1. 余裕幅は本体コンクリート端からとする。 2. 矢板施工の余裕幅は矢板のセンターからの距離とする。 3. 足場工が必要な場合とは、H=2m以上の構造物をいう。 4. 防寒仮囲いを使用する場合は、必要幅を計上すること。 5. 小構造物(プレキャストU型・V型側溝、集水桝などのコンクリート2次製品)のオープン掘削の余裕幅は、20cmとする。ただし、U型・V型側溝で裏込材が有る場合は裏込材の幅とする。 6. 管水路の床掘幅及び床掘余裕幅については、農政部制定用排水路設計指針によるものとする。</p>	種 別	足場工の有無	余裕幅		(水替なし)	(水替あり)	オープン掘削	足場工なし	50cm	100cm	足場工あり	170cm	170cm	足場工あり (フーチング高さ 2m未満 でフーチング上に足場を設 置する場合)	50cm	100cm	土留掘削	足場工なし	100cm	100cm	足場工なし(プレキャスト構 造物で自立型土留めの場合)	70cm	100cm	足場工あり	220cm	220cm	足場工あり (フーチング高さ 2m未満 でフーチング上に足場を設 置する場合)	100cm	100cm	<p>4 数量算出方法 数量の算出は、「1章 基本事項」によるほか次の方法によるものとする。 平均断面法によることを標準とする。 土量＝平均断面積×延長 法面積＝平均法長×延長</p> <p>(1) 施工方法 【省略】</p> <p>(3) 床掘 1) 床掘勾配 【省略】 2) 床掘余裕幅、床掘基面 床掘余裕幅は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">床掘余裕幅</p> <table border="1" data-bbox="1454 693 2285 1228"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 別</th> <th rowspan="2">足場工の有無</th> <th colspan="2">余裕幅</th> </tr> <tr> <th>(水替なし)</th> <th>(水替あり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">オープン掘削</td> <td>足場工なし</td> <td>50cm</td> <td>100cm</td> </tr> <tr> <td>足場工あり</td> <td>170cm</td> <td>170cm</td> </tr> <tr> <td>足場工あり (フーチング高さ 2m未満 でフーチング上に足場を設 置する場合)</td> <td>50cm</td> <td>100cm</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">土留掘削</td> <td>足場工なし</td> <td>100cm</td> <td>100cm</td> </tr> <tr> <td>足場工なし(プレキャスト構 造物で自立型土留めの場合)</td> <td>70cm</td> <td>100cm</td> </tr> <tr> <td>足場工あり</td> <td>220cm</td> <td>220cm</td> </tr> <tr> <td>足場工あり (フーチング高さ 2m未満 でフーチング上に足場を設 置する場合)</td> <td>100cm</td> <td>100cm</td> </tr> </tbody> </table>  <p>注) 1. 余裕幅は本体コンクリート端からとする。 2. 矢板施工の余裕幅は矢板のセンターからの距離とする。 3. 足場工が必要な場合とは、H=2m以上の構造物をいう。 4. 防寒仮囲いを使用する場合は、必要幅を計上すること。 5. 小構造物(プレキャストU型・V型側溝、集水桝などのコンクリート2次製品)のオープン掘削の余裕幅は、20cmとする。ただし、U型・V型側溝で裏込碎石が有る場合は裏込碎石の幅とする。 6. 管水路の床掘幅及び床掘余裕幅については、農政部制定用排水路設計指針によるものとする。</p>	種 別	足場工の有無	余裕幅		(水替なし)	(水替あり)	オープン掘削	足場工なし	50cm	100cm	足場工あり	170cm	170cm	足場工あり (フーチング高さ 2m未満 でフーチング上に足場を設 置する場合)	50cm	100cm	土留掘削	足場工なし	100cm	100cm	足場工なし(プレキャスト構 造物で自立型土留めの場合)	70cm	100cm	足場工あり	220cm	220cm	足場工あり (フーチング高さ 2m未満 でフーチング上に足場を設 置する場合)	100cm	100cm	<p>字句の改正</p>
種 別			足場工の有無	余裕幅																																																								
	(水替なし)	(水替あり)																																																										
オープン掘削	足場工なし	50cm	100cm																																																									
	足場工あり	170cm	170cm																																																									
	足場工あり (フーチング高さ 2m未満 でフーチング上に足場を設 置する場合)	50cm	100cm																																																									
土留掘削	足場工なし	100cm	100cm																																																									
	足場工なし(プレキャスト構 造物で自立型土留めの場合)	70cm	100cm																																																									
	足場工あり	220cm	220cm																																																									
	足場工あり (フーチング高さ 2m未満 でフーチング上に足場を設 置する場合)	100cm	100cm																																																									
種 別	足場工の有無	余裕幅																																																										
		(水替なし)	(水替あり)																																																									
オープン掘削	足場工なし	50cm	100cm																																																									
	足場工あり	170cm	170cm																																																									
	足場工あり (フーチング高さ 2m未満 でフーチング上に足場を設 置する場合)	50cm	100cm																																																									
土留掘削	足場工なし	100cm	100cm																																																									
	足場工なし(プレキャスト構 造物で自立型土留めの場合)	70cm	100cm																																																									
	足場工あり	220cm	220cm																																																									
	足場工あり (フーチング高さ 2m未満 でフーチング上に足場を設 置する場合)	100cm	100cm																																																									

改 正	現 行	備 考
<p>3) 断面積</p> <p>a) オープン掘削の場合</p> <p>【省略】</p> <p>c) その他の場合</p> <p>構造物の床掘の掘削底面は、下記のとおりとする。</p> <p>コンクリート擁壁、橋台、橋脚、ボックスカルバート等の一般構造物及び側溝、樹類、防護柵基礎等の小構造物は、基礎材の底面を床掘基面とする。</p>  <p>① U型・V型トラフ等 [土砂床掘 0.7m未満の場合]</p> <p>(裏込材が無い場合) (裏込材が有る場合)</p>  <p>【省略】</p>	<p>3) 断面積</p> <p>a) オープン掘削の場合</p> <p>【省略】</p> <p>c) その他の場合</p> <p>構造物の床掘の掘削底面は、下記のとおりとする。</p> <p>コンクリート擁壁、橋台、橋脚、ボックスカルバート等の一般構造物及び側溝、樹類、防護柵基礎等の小構造物は、基礎材の底面を床掘基面とする。</p>  <p>① U型・V型トラフ等 [土砂床掘 0.7m未満の場合]</p> <p>(裏込碎石が無い場合) (裏込碎石が有る場合)</p>  <p>【省略】</p>	<p>字句の改正 詳細図内、字句の改正</p>

改 正	現 行	備 考										
<p>2.2.3 土工（水路工）</p> <p>1 適用</p> <p>【省略】</p> <p>3 区分</p> <p>区分は、断面積、作業項目、土質、施工幅、運搬距離とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <p>【省略】</p> <p>(2) 断面積区分</p> <p>断面積区分は次のとおりとする。</p> <p>1) 掘削（下図参照）</p> <table border="1" data-bbox="240 604 667 739"> <tr><td rowspan="4">断面積</td><td>土砂掘削</td></tr> <tr><td>床掘</td></tr> <tr><td>掘削（作業土工）</td></tr> <tr><td>床掘（作業土工）</td></tr> </table> <p>注) 「軟岩掘削」「硬岩掘削」も同様。</p> <p>① 素掘水路の場合</p> <p>【省略】</p> <p>② プレキャスト製品等を使用する水路の場合</p> <p>(施工基面)</p>  <p>プレキャスト製品等を使用する水路の場合、ステップより上の網かけ部分は埋戻しを伴わず、出来形を要求する部分であるから施工基面より下であっても「掘削」とし、「地山の掘削積込」で計上する。</p> <p>ステップより下の部分はプレキャスト製品等の布設のために掘り下げるもので、埋戻しを伴い(裏込材等も埋戻しと考える)、出来形が不要であることから「床掘」とし、「床掘（作業土工）」で計上する。</p> <p>【省略】</p> <p>4 数量算出方法</p> <p>(1) 水路土工の材料体系</p> <p>【省略】</p> <p>(2) 裏込材施工における抜型枠の計上</p> <p>裏込材と地山の境界線が盛土となる場合であっても土工型枠（抜型枠）は計上しない。</p> <p>【省略】</p>	断面積	土砂掘削	床掘	掘削（作業土工）	床掘（作業土工）	<p>2.2.3 土工（水路工）</p> <p>1 適用</p> <p>【省略】</p> <p>3 区分</p> <p>区分は、断面積、作業項目、土質、施工幅、運搬距離とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <p>【省略】</p> <p>(2) 断面積区分</p> <p>断面積区分は次のとおりとする。</p> <p>1) 掘削（下図参照）</p> <table border="1" data-bbox="1498 604 1926 739"> <tr><td rowspan="4">断面積</td><td>土砂掘削</td></tr> <tr><td>床掘</td></tr> <tr><td>掘削（作業土工）</td></tr> <tr><td>床掘（作業土工）</td></tr> </table> <p>注) 「軟岩掘削」「硬岩掘削」も同様。</p> <p>① 素掘水路の場合</p> <p>【省略】</p> <p>② プレキャスト製品等を使用する水路の場合</p> <p>(施工基面)</p>  <p>プレキャスト製品等を使用する水路の場合、ステップより上の網かけ部分は埋戻しを伴わず、出来形を要求する部分であるから施工基面より下であっても「掘削」とし、「地山の掘削積込」で計上する。</p> <p>ステップより下の部分はプレキャスト製品等の布設のために掘り下げるもので、埋戻しを伴い(裏込砕石等も埋戻しと考える)、出来形が不要であることから「床掘」とし、「床掘（作業土工）」で計上する。</p> <p>【省略】</p> <p>4 数量算出方法</p> <p>(1) 水路土工の材料体系</p> <p>【省略】</p> <p>(2) 裏込砕石施工における抜型枠の計上</p> <p>裏込砕石と地山の境界線が盛土となる場合であっても土工型枠（抜型枠）は計上しない。</p> <p>【省略】</p>	断面積	土砂掘削	床掘	掘削（作業土工）	床掘（作業土工）	<p></p> <p>字句の改正</p> <p>”</p>
断面積		土砂掘削										
		床掘										
		掘削（作業土工）										
	床掘（作業土工）											
断面積	土砂掘削											
	床掘											
	掘削（作業土工）											
	床掘（作業土工）											

改 正	現 行	備 考																																																						
<p>3章 コンクリート工</p> <p>3.1 コンクリート工</p> <p>1 適用 【省略】</p> <p>4 数量算出方法 数量算出は「1章 基本事項」によるほか、次の方法によるものとする。</p> <p>(1) <u>ペーラインコンクリート</u> <u>岩盤掘削に伴う余掘部分のペーラインコンクリートは下記のとおりとする。ペーラインは基礎側面部のみとし、底面部には計上しない。なお、ペーラインは岩着の場合にのみ計上する。</u></p>  <p style="text-align: center;">[削除]</p> <p>【省略】</p> <p>6 生コンクリート標準配合表</p> <p style="text-align: center;">生コンクリート標準配合表 (1)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>設計基準強度 N/mm²</th> <th>スラブ[*] cm</th> <th>空気量 %</th> <th>最大水セメント比 %</th> <th>粗骨材 最大寸法 mm</th> <th>最小単位 セメント量 kg/m³</th> <th>適用する構造物の代表例</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C-1</td> <td>—</td> <td>8.0</td> <td>4.5</td> <td>—</td> <td>20または25</td> <td>—</td> <td>基礎均し、埋戻し、縁石基礎、雨水</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C-1P</td> <td>—</td> <td>8.0</td> <td>4.5</td> <td>—</td> <td>20または25</td> <td>270</td> <td>樹等の基礎</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>【省略】</p>	記号	設計基準強度 N/mm ²	スラブ [*] cm	空気量 %	最大水セメント比 %	粗骨材 最大寸法 mm	最小単位 セメント量 kg/m ³	適用する構造物の代表例	備考	C-1	—	8.0	4.5	—	20または25	—	基礎均し、埋戻し、縁石基礎、雨水		C-1P	—	8.0	4.5	—	20または25	270	樹等の基礎		<p>3章 コンクリート工</p> <p>3.1 コンクリート工</p> <p>1 適用 【省略】</p> <p>4 数量算出方法 数量算出は「1章 基本事項」によるほか、次の方法によるものとする。</p> <p>(1) <u>コンクリート構造物の岩盤余掘</u> <u>コンクリート構造物で底面及び側面が直接岩盤（軟岩 I 以上）に接してよい場合は、型枠を計上せずに余掘部分のコンクリートを計上してもよい。余掘部分のコンクリート量は下図により算出するものとする。なお、岩質等によりこの扱いが不適の場合は、別途考慮できる。</u></p> <p>1) <u>無筋構造物の場合</u> <u>(型枠は計上しないこと)</u></p>  <p>2) <u>鉄筋構造物の場合</u> <u>ただし、均しコンクリートの厚さは、平均 10 cm とする。(型枠は計上しないこと)</u></p>  <p>【省略】</p> <p>6 生コンクリート標準配合表</p> <p style="text-align: center;">生コンクリート標準配合表 (1)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>設計基準強度 N/mm²</th> <th>スラブ[*] cm</th> <th>空気量 %</th> <th>最大水セメント比 %</th> <th>粗骨材 最大寸法 mm</th> <th>最小単位 セメント量 kg/m³</th> <th>適用する構造物の代表例</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C-1</td> <td>—</td> <td>8.0</td> <td>4.5</td> <td>—</td> <td>20または25</td> <td>—</td> <td>基礎均し、埋戻し、縁石基礎、雨水</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C-1P</td> <td>—</td> <td>8.0</td> <td>4.5</td> <td>—</td> <td>20または25</td> <td>270</td> <td>樹等の基礎、<u>橋面、覆道の歩道均し</u></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>【省略】</p>	記号	設計基準強度 N/mm ²	スラブ [*] cm	空気量 %	最大水セメント比 %	粗骨材 最大寸法 mm	最小単位 セメント量 kg/m ³	適用する構造物の代表例	備考	C-1	—	8.0	4.5	—	20または25	—	基礎均し、埋戻し、縁石基礎、雨水		C-1P	—	8.0	4.5	—	20または25	270	樹等の基礎、 <u>橋面、覆道の歩道均し</u>		<p>字句の改正 "</p> <p>字句の削除 "</p> <p>詳細図の改正</p> <p>字句の削除 "</p> <p>図の削除</p> <p>表内、字句の削除</p>
記号	設計基準強度 N/mm ²	スラブ [*] cm	空気量 %	最大水セメント比 %	粗骨材 最大寸法 mm	最小単位 セメント量 kg/m ³	適用する構造物の代表例	備考																																																
C-1	—	8.0	4.5	—	20または25	—	基礎均し、埋戻し、縁石基礎、雨水																																																	
C-1P	—	8.0	4.5	—	20または25	270	樹等の基礎																																																	
記号	設計基準強度 N/mm ²	スラブ [*] cm	空気量 %	最大水セメント比 %	粗骨材 最大寸法 mm	最小単位 セメント量 kg/m ³	適用する構造物の代表例	備考																																																
C-1	—	8.0	4.5	—	20または25	—	基礎均し、埋戻し、縁石基礎、雨水																																																	
C-1P	—	8.0	4.5	—	20または25	270	樹等の基礎、 <u>橋面、覆道の歩道均し</u>																																																	

改 正	現 行	備 考																										
<p>3.5 目地・止水板設置工</p> <p>1 適用 水路、ボックスカルバート等のコンクリート継目工（止水板、目地板、ペイント塗装、シール材）の設置に適用する。 目地板取付については瀝青質またはゴム発泡体目地板取付に適用する。 止水板取付については塩化ビニル樹脂製、<u>天然ゴム製</u>を用いた止水板を取付る場合に適用する。 ペイント塗装については収縮継目等に収縮継目ペイントを塗布する作業に適用する。</p> <p>【省略】</p> <p>4 参考図 （止水板）</p> <table border="1" data-bbox="201 657 1032 850"> <thead> <tr> <th>符 号</th> <th>種 類</th> <th>止水板断面構造模式図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CF</td> <td rowspan="3">塩化ビニル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>CC</td> <td></td> </tr> <tr> <td>FF</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td><u>ゴム製</u></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	符 号	種 類	止水板断面構造模式図	CF	塩化ビニル		CC		FF			<u>ゴム製</u>		<p>3.5 目地・止水板設置工</p> <p>1 適用 水路、ボックスカルバート等のコンクリート継目工（止水板、目地板、ペイント塗装、シール材）の設置に適用する。 目地板取付については瀝青質またはゴム発泡体目地板取付に適用する。 止水板取付については塩化ビニル樹脂製_____を用いた止水板を取付る場合に適用する。 ペイント塗装については収縮継目等に収縮継目ペイントを塗布する作業に適用する。</p> <p>【省略】</p> <p>4 参考図 （止水板）</p> <table border="1" data-bbox="1460 657 2291 850"> <thead> <tr> <th>符 号</th> <th>種 類</th> <th>止水板断面構造模式図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CF</td> <td rowspan="3">塩化ビニル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>CC</td> <td></td> </tr> <tr> <td>FF</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>_____</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	符 号	種 類	止水板断面構造模式図	CF	塩化ビニル		CC		FF			_____		<p>字句の追加</p> <p>表内、字句及び図の追加</p>
符 号	種 類	止水板断面構造模式図																										
CF	塩化ビニル																											
CC																												
FF																												
	<u>ゴム製</u>																											
符 号	種 類	止水板断面構造模式図																										
CF	塩化ビニル																											
CC																												
FF																												
	_____																											

改 正	現 行	備 考																																																																																																																																														
<p>5章 擁壁工</p> <p>5.1 プレキャスト擁壁工</p> <p>1 適用 プレキャスト擁壁の設置に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 プレキャスト擁壁の延長を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区分 区分は、擁壁高さ、規格とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>擁壁高さ</th> <th>規 格</th> <th>必要の有無</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレキャスト擁壁</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>＝</td> <td>m</td> <td></td> <td>＝</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">基礎材</td> <td>20 cm超え</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>＝</td> <td>m²</td> <td></td> <td>注) 3、4</td> </tr> <tr> <td>20 cm以下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>＝</td> <td></td> <td>注) 3、4</td> </tr> <tr> <td>均しコンクリート</td> <td></td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m²</td> <td></td> <td>注) 3、4</td> </tr> <tr> <td>ペーラインコンクリート</td> <td></td> <td>×</td> <td>○</td> <td>＝</td> <td>m³</td> <td></td> <td>必要に応じて</td> </tr> <tr> <td>排水材</td> <td></td> <td>×</td> <td>○</td> <td>＝</td> <td>m</td> <td></td> <td>必要に応じて</td> </tr> <tr> <td>裏込材</td> <td></td> <td>×</td> <td>○</td> <td>＝</td> <td>m³</td> <td></td> <td>必要に応じて</td> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td></td> <td>×</td> <td>○</td> <td>＝</td> <td>m²</td> <td></td> <td>必要に応じて</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 製品を斜めにカットしたタイプの擁壁ブロックの高さは中央値、嵩上品はブロック高さ（差筋を含まない）を採用する。 2. 床掘り、埋戻しは別途算出する。 3. プレキャスト擁壁高さが0.5m以上5.0m以下の場合、基礎材、均しコンクリートについては、数量の算出は必要ないが、必要の有無は記載すること。 4. プレキャスト擁壁高さが0.5m未満または5.0mを超える場合は、基礎材、均しコンクリート、敷モルタル、目地モルタル、吸出し防止材等その他必要な項目の数量を適正に算出すること。 5. <u>基礎材厚さ20 cmを超える場合は、7章 基礎工 7.1 基礎・裏込砕石工によるものとする。</u></p> <p>【省略】</p>	項目	区分	擁壁高さ	規 格	必要の有無	単 位	数 量	備 考	プレキャスト擁壁		○	○	＝	m		＝	基礎材	20 cm超え	×	○	＝	m ²		注) 3、4	20 cm以下	×	×	○	＝		注) 3、4	均しコンクリート		×	○	○	m ²		注) 3、4	ペーラインコンクリート		×	○	＝	m ³		必要に応じて	排水材		×	○	＝	m		必要に応じて	裏込材		×	○	＝	m ³		必要に応じて	目地材		×	○	＝	m ²		必要に応じて	<p>5章 擁壁工</p> <p>5.1 プレキャスト擁壁工</p> <p>1 適用 プレキャスト擁壁の設置に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 プレキャスト擁壁の延長を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区分 区分は、擁壁高さ、規格とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>擁壁高さ</th> <th>規 格</th> <th>＝</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレキャスト擁壁</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>＝</td> <td>m</td> <td></td> <td>(質量)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">基礎材</td> <td>＝</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>＝</td> <td>m²</td> <td></td> <td>＝</td> </tr> <tr> <td>＝</td> <td>＝</td> <td>＝</td> <td>＝</td> <td>＝</td> <td></td> <td>＝</td> </tr> <tr> <td>均しコンクリート</td> <td></td> <td>×</td> <td>○</td> <td>＝</td> <td>m²</td> <td></td> <td>＝</td> </tr> <tr> <td>＝</td> <td></td> <td>＝</td> <td>＝</td> <td>＝</td> <td>＝</td> <td></td> <td>＝</td> </tr> <tr> <td>排水材</td> <td></td> <td>×</td> <td>○</td> <td>＝</td> <td>m</td> <td></td> <td>必要に応じて</td> </tr> <tr> <td>裏込材</td> <td></td> <td>×</td> <td>○</td> <td>＝</td> <td>m³</td> <td></td> <td>必要に応じて</td> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td></td> <td>×</td> <td>○</td> <td>＝</td> <td>m²</td> <td></td> <td>必要に応じて</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 製品を斜めにカットしたタイプの擁壁ブロックの高さは中央値、嵩上品はブロック高さ（差筋を含まない）を採用する。 2. 床掘り、埋戻しは別途算出する。 3. プレキャスト擁壁高さが0.5m以上5.0m以下の場合、基礎材、均しコンクリートについては、数量の算出は必要ないが、必要の有無は記載すること。 4. プレキャスト擁壁高さが0.5m未満または5.0mを超える場合は、基礎材、均しコンクリート、敷モルタル、目地モルタル、吸出し防止材等その他必要な項目の数量を適正に算出すること。</p> <p>【省略】</p>	項目	区分	擁壁高さ	規 格	＝	単 位	数 量	備 考	プレキャスト擁壁		○	○	＝	m		(質量)	基礎材	＝	×	○	＝	m ²		＝	＝	＝	＝	＝	＝		＝	均しコンクリート		×	○	＝	m ²		＝	＝		＝	＝	＝	＝		＝	排水材		×	○	＝	m		必要に応じて	裏込材		×	○	＝	m ³		必要に応じて	目地材		×	○	＝	m ²		必要に応じて	<p>表内、字句の追加及び削除</p> <p>字句の追加</p>
項目	区分	擁壁高さ	規 格	必要の有無	単 位	数 量	備 考																																																																																																																																									
プレキャスト擁壁		○	○	＝	m		＝																																																																																																																																									
基礎材	20 cm超え	×	○	＝	m ²		注) 3、4																																																																																																																																									
	20 cm以下	×	×	○	＝		注) 3、4																																																																																																																																									
均しコンクリート		×	○	○	m ²		注) 3、4																																																																																																																																									
ペーラインコンクリート		×	○	＝	m ³		必要に応じて																																																																																																																																									
排水材		×	○	＝	m		必要に応じて																																																																																																																																									
裏込材		×	○	＝	m ³		必要に応じて																																																																																																																																									
目地材		×	○	＝	m ²		必要に応じて																																																																																																																																									
項目	区分	擁壁高さ	規 格	＝	単 位	数 量	備 考																																																																																																																																									
プレキャスト擁壁		○	○	＝	m		(質量)																																																																																																																																									
基礎材	＝	×	○	＝	m ²		＝																																																																																																																																									
	＝	＝	＝	＝	＝		＝																																																																																																																																									
均しコンクリート		×	○	＝	m ²		＝																																																																																																																																									
＝		＝	＝	＝	＝		＝																																																																																																																																									
排水材		×	○	＝	m		必要に応じて																																																																																																																																									
裏込材		×	○	＝	m ³		必要に応じて																																																																																																																																									
目地材		×	○	＝	m ²		必要に応じて																																																																																																																																									

改 正	現 行	備 考																						
<p>7章 基礎工</p> <p>7.1 基礎・基礎砕石工</p> <p>【省略】</p> <p>7.7 泥水運搬工</p> <p>1 適 用 <u>地盤改良及び基礎工事等の施工に伴い発生する泥水及び汚泥（以下泥水とする）を、側溝清掃車を使用して運搬する場合に適用する。泥水運搬には吸入管設置、吸入、吸入管撤去、運搬、排出、現場に戻る作業を含む。DID 区間の有無に関係なく適用できる。吸入管の設置または撤去が 50m 以上の場合は適用範囲外とする。なお、泥水処理が必要な場合は、泥水処理費を別途計上する。</u></p> <p>2 数量算出項目 <u>泥水処理量を区分ごとに算出する。</u></p> <p>3 区 分 <u>区分は、運搬距離とする。</u></p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1" data-bbox="201 884 1003 993"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>運搬距離</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>泥水処理量</td> <td></td> <td>○</td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. <u>運搬距離は搬出先までの片道距離であり、現場に戻る復路の距離が異なる際は平均値とする。</u> 2. <u>有料道路を利用する場合は、利用料金を別途計上する。</u> 3. <u>運搬距離が、80.0 km を超える場合は、別途考慮する。</u></p> <p>(2) 運搬距離区分 <u>運搬距離ごとに区分して算出する。</u></p> <table border="1" data-bbox="243 1209 810 1516"> <tbody> <tr><td rowspan="8">運搬距離区分</td><td>7.0 km以下</td></tr> <tr><td>7.0 km超え 14.0 km以下</td></tr> <tr><td>14.0 km超え 22.0 km以下</td></tr> <tr><td>22.0 km超え 31.0 km以下</td></tr> <tr><td>31.0 km超え 41.0 km以下</td></tr> <tr><td>41.0 km超え 51.0 km以下</td></tr> <tr><td>51.0 km超え 63.0 km以下</td></tr> <tr><td>63.0 km超え 77.0 km以下</td></tr> <tr><td>77.0 km超え 80.0 km以下</td></tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	項目	区分	運搬距離	単 位	数 量	備 考	泥水処理量		○	m ³			運搬距離区分	7.0 km以下	7.0 km超え 14.0 km以下	14.0 km超え 22.0 km以下	22.0 km超え 31.0 km以下	31.0 km超え 41.0 km以下	41.0 km超え 51.0 km以下	51.0 km超え 63.0 km以下	63.0 km超え 77.0 km以下	77.0 km超え 80.0 km以下	<p>7章 基礎工</p> <p>7.1 基礎・基礎砕石工</p> <p>【省略】</p> <p style="text-align: center;">〔追加〕</p> <p>【省略】</p>	<p>項目の新設</p>
項目	区分	運搬距離	単 位	数 量	備 考																			
泥水処理量		○	m ³																					
運搬距離区分	7.0 km以下																							
	7.0 km超え 14.0 km以下																							
	14.0 km超え 22.0 km以下																							
	22.0 km超え 31.0 km以下																							
	31.0 km超え 41.0 km以下																							
	41.0 km超え 51.0 km以下																							
	51.0 km超え 63.0 km以下																							
	63.0 km超え 77.0 km以下																							
77.0 km超え 80.0 km以下																								

改 正	現 行	備 考																																																																																																																																										
<p>8章 構造物とりこわし工</p> <p>8.1 構造物とりこわし工</p> <p>1 適用 土木工事におけるコンクリート構造物等のとりこわし工に適用する。 ただし、建築物及び舗装版のとりこわし工及びブロック施工による旧橋撤去には適用しない。</p> <p>2 数量算出項目 コンクリート構造物等のとりこわしの数量を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区分 区分は、種別、形状、集積積込の有無とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分項目</th> <th>種別</th> <th>形状</th> <th>集積積込の有無</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">コンクリート構造物とりこわし</td> <td>無筋構造物</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>m³</td> <td></td> <td>注)4,5,6</td> </tr> <tr> <td>鉄筋構造物</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>m³</td> <td></td> <td>注)4,5,6</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">石積とりこわし</td> <td rowspan="2">練積</td> <td>控 35 cm～45 cm</td> <td>—</td> <td>(m³) m²</td> <td>()</td> <td>注)3</td> </tr> <tr> <td>控 45 cm未満</td> <td>—</td> <td>(m³) m²</td> <td>()</td> <td>注)3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">空積</td> <td>控 45 cm～60 cm</td> <td>—</td> <td>(m³) m²</td> <td>()</td> <td>注)3</td> </tr> <tr> <td>控 60 cm～90 cm</td> <td>—</td> <td>(m³) m²</td> <td>()</td> <td>注)3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリートはつり</td> <td rowspan="2">コンクリート構造物</td> <td>厚さ 3 cm以下</td> <td>—</td> <td>(m³) m²</td> <td>()</td> <td>注)3</td> </tr> <tr> <td>厚さ 3 cmを超え 6 cm以下</td> <td>—</td> <td>(m³) m²</td> <td>()</td> <td>注)3</td> </tr> <tr> <td>管類切断</td> <td>コンクリート管類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>m</td> <td></td> <td>注)3</td> </tr> <tr> <td>吹付法面とりこわし</td> <td>モルタル</td> <td>厚さ 5 cm越え 15cm以下</td> <td>○</td> <td>(m³) m²</td> <td>()</td> <td>注)3 人力施工と機械施工に区分し数量を算出する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 形状の範囲外の場合も区分して算出する。 2. Co塊等を工事区間外へ搬出する場合は、運搬距離についても算出する。 3. とりこわし数量 (m³) については、とりこわす前の数量とする。 4. PC・RC橋上部、鋼橋床版のとりこわしは、コンクリート構造物とりこわしの鉄筋構造物を適用する。 5. コンクリート構造物とりこわしにおいて、施工基面 (機械設置基面) より上下 5mを超える場合については、区分して算出する。 6. 乾燥収縮によるひび割れ対策の鉄筋程度を含むものは無筋構造物とする。 7. 人力とりこわしと機械とりこわしに区分し算出する。</p> <p>【省略】</p>	区分項目	種別	形状	集積積込の有無	単位	数量	備考	コンクリート構造物とりこわし	無筋構造物	—	—	m ³		注)4,5,6	鉄筋構造物	—	—	m ³		注)4,5,6	石積とりこわし	練積	控 35 cm～45 cm	—	(m ³) m ²	()	注)3	控 45 cm未満	—	(m ³) m ²	()	注)3	空積	控 45 cm～60 cm	—	(m ³) m ²	()	注)3	控 60 cm～90 cm	—	(m ³) m ²	()	注)3	コンクリートはつり	コンクリート構造物	厚さ 3 cm以下	—	(m ³) m ²	()	注)3	厚さ 3 cmを超え 6 cm以下	—	(m ³) m ²	()	注)3	管類切断	コンクリート管類	—	—	m		注)3	吹付法面とりこわし	モルタル	厚さ 5 cm越え 15cm以下	○	(m ³) m ²	()	注)3 人力施工と機械施工に区分し数量を算出する。	<p>8章 構造物とりこわし工</p> <p>8.1 構造物とりこわし工</p> <p>1 適用 土木工事におけるコンクリート構造物等のとりこわし工に適用する。 ただし、建築物及び舗装版のとりこわし工及びブロック施工による旧橋撤去には適用しない。</p> <p>2 数量算出項目 コンクリート構造物等のとりこわしの数量を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区分 区分は、種別、形状、集積積込の有無とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分項目</th> <th>種別</th> <th>形状</th> <th>集積積込の有無</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">コンクリート構造物とりこわし</td> <td>無筋構造物</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>m³</td> <td></td> <td>注)4,5,6</td> </tr> <tr> <td>鉄筋構造物</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>m³</td> <td></td> <td>注)4,5,6</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">石積とりこわし</td> <td rowspan="2">練積</td> <td>控 35 cm～45 cm</td> <td>—</td> <td>(m³) m²</td> <td>()</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>控 45 cm未満</td> <td>—</td> <td>(m³) m²</td> <td>()</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">空積</td> <td>控 45 cm～60 cm</td> <td>—</td> <td>(m³) m²</td> <td>()</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>控 60 cm～90 cm</td> <td>—</td> <td>(m³) m²</td> <td>()</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリートはつり</td> <td rowspan="2">コンクリート構造物</td> <td>厚さ 3 cm以下</td> <td>—</td> <td>(m³) m²</td> <td>()</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>厚さ 3 cmを超え 6 cm以下</td> <td>—</td> <td>(m³) m²</td> <td>()</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>管類切断</td> <td>コンクリート管類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>m</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>吹付法面とりこわし</td> <td>モルタル</td> <td>厚さ 5 cm越え 15cm以下</td> <td>○</td> <td>(m³) m²</td> <td>()</td> <td>— 人力施工と機械施工に区分し数量を算出する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 形状の範囲外の場合も区分して算出する。 2. Co塊等を工事区間外へ搬出する場合は、運搬距離についても算出する。 3. とりこわし数量 (m³) については、とりこわす前の数量とする。 4. PC・RC橋上部、鋼橋床版のとりこわしは、コンクリート構造物とりこわしの鉄筋構造物を適用する。 5. コンクリート構造物とりこわしにおいて、施工基面 (機械設置基面) より上下 5mを超える場合については、区分して算出する。 6. 乾燥収縮によるひび割れ対策の鉄筋程度を含むものは無筋構造物とする。 7. 人力とりこわしと機械とりこわしに区分し算出する。</p> <p>【省略】</p>	区分項目	種別	形状	集積積込の有無	単位	数量	備考	コンクリート構造物とりこわし	無筋構造物	—	—	m ³		注)4,5,6	鉄筋構造物	—	—	m ³		注)4,5,6	石積とりこわし	練積	控 35 cm～45 cm	—	(m ³) m ²	()	—	控 45 cm未満	—	(m ³) m ²	()	—	空積	控 45 cm～60 cm	—	(m ³) m ²	()	—	控 60 cm～90 cm	—	(m ³) m ²	()	—	コンクリートはつり	コンクリート構造物	厚さ 3 cm以下	—	(m ³) m ²	()	—	厚さ 3 cmを超え 6 cm以下	—	(m ³) m ²	()	—	管類切断	コンクリート管類	—	—	m		—	吹付法面とりこわし	モルタル	厚さ 5 cm越え 15cm以下	○	(m ³) m ²	()	— 人力施工と機械施工に区分し数量を算出する。	<p>表内、字句の追加</p>
区分項目	種別	形状	集積積込の有無	単位	数量	備考																																																																																																																																						
コンクリート構造物とりこわし	無筋構造物	—	—	m ³		注)4,5,6																																																																																																																																						
	鉄筋構造物	—	—	m ³		注)4,5,6																																																																																																																																						
石積とりこわし	練積	控 35 cm～45 cm	—	(m ³) m ²	()	注)3																																																																																																																																						
		控 45 cm未満	—	(m ³) m ²	()	注)3																																																																																																																																						
	空積	控 45 cm～60 cm	—	(m ³) m ²	()	注)3																																																																																																																																						
		控 60 cm～90 cm	—	(m ³) m ²	()	注)3																																																																																																																																						
コンクリートはつり	コンクリート構造物	厚さ 3 cm以下	—	(m ³) m ²	()	注)3																																																																																																																																						
		厚さ 3 cmを超え 6 cm以下	—	(m ³) m ²	()	注)3																																																																																																																																						
管類切断	コンクリート管類	—	—	m		注)3																																																																																																																																						
吹付法面とりこわし	モルタル	厚さ 5 cm越え 15cm以下	○	(m ³) m ²	()	注)3 人力施工と機械施工に区分し数量を算出する。																																																																																																																																						
区分項目	種別	形状	集積積込の有無	単位	数量	備考																																																																																																																																						
コンクリート構造物とりこわし	無筋構造物	—	—	m ³		注)4,5,6																																																																																																																																						
	鉄筋構造物	—	—	m ³		注)4,5,6																																																																																																																																						
石積とりこわし	練積	控 35 cm～45 cm	—	(m ³) m ²	()	—																																																																																																																																						
		控 45 cm未満	—	(m ³) m ²	()	—																																																																																																																																						
	空積	控 45 cm～60 cm	—	(m ³) m ²	()	—																																																																																																																																						
		控 60 cm～90 cm	—	(m ³) m ²	()	—																																																																																																																																						
コンクリートはつり	コンクリート構造物	厚さ 3 cm以下	—	(m ³) m ²	()	—																																																																																																																																						
		厚さ 3 cmを超え 6 cm以下	—	(m ³) m ²	()	—																																																																																																																																						
管類切断	コンクリート管類	—	—	m		—																																																																																																																																						
吹付法面とりこわし	モルタル	厚さ 5 cm越え 15cm以下	○	(m ³) m ²	()	— 人力施工と機械施工に区分し数量を算出する。																																																																																																																																						

改 正	現 行	備 考																																																																																					
<p>9章 仮設工</p> <p>9.1 仮締切工の積算区分について 【省略】</p> <p>9.2 土留・仮締切工</p> <p>9.2.1 土留・仮締切工 【省略】</p> <p>9.2.2 土のう締切工</p> <p>1 適用 土のうによる締切工に適用するものとする。</p> <p>2 数量算出項目 土のう締切延長、土量を算出する。</p> <p>3 区分 区分は、規格、段数、施工、転用回数とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>規格</th> <th>段数</th> <th>施工</th> <th>転用回数</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土のう締切</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>m³</td> <td></td> <td>中詰土：地山土量</td> </tr> <tr> <td>大型土のう締切</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>袋</td> <td></td> <td>中詰土：ほぐした土量</td> </tr> <tr> <td>中詰土</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>(3) 施工区分 施工区分は、次のとおりとする。</p> <p>① 土のう</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">施工区分</td> <td>仕拵え～設置～撤去</td> </tr> <tr> <td>仕拵え～設置</td> </tr> <tr> <td>撤去のみ</td> </tr> </table> <p>② 大型土のう</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">施工区分</td> <td>製作～設置</td> </tr> <tr> <td>製作</td> </tr> <tr> <td>設置</td> </tr> <tr> <td>撤去</td> </tr> </table> <p>4 数量算出方法 数量の算出は、「1章 基本事項」によるものとする。</p>	項目	区分	規格	段数	施工	転用回数	単位	数量	備考	土のう締切		○	○	○	×	m ³		中詰土：地山土量	大型土のう締切		○	○	○	○	袋		中詰土：ほぐした土量	中詰土		×	×	×	×	m ³			施工区分	仕拵え～設置～撤去	仕拵え～設置	撤去のみ	施工区分	製作～設置	製作	設置	撤去	<p>9章 仮設工</p> <p>9.1 仮締切工の積算区分について 【省略】</p> <p>9.2 土留・仮締切工</p> <p>9.2.1 土留・仮締切工 【省略】</p> <p>9.2.2 土のう締切工</p> <p>1 適用 土のうによる締切工に適用するものとする。</p> <p>2 数量算出項目 土のう締切延長、土量を算出する。</p> <p>3 区分 区分は、規格、段数、施工、転用回数とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>規格</th> <th>段数</th> <th>施工</th> <th>転用回数</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土のう締切</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>m³</td> <td></td> <td>中詰土：地山土量</td> </tr> <tr> <td>大型土のう締切</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m(袋)</td> <td></td> <td>中詰土：ほぐした土量</td> </tr> <tr> <td>中詰土</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><u>注) 大型土のう締切数量は、mにより算出し難い場合は、袋により算出する。</u></p> <p>【省略】</p> <p>(3) 施工区分 施工区分は、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">施工区分</td> <td>仕拵え～設置～撤去</td> </tr> <tr> <td>仕拵え～設置</td> </tr> <tr> <td>撤去のみ</td> </tr> </table> <p><u>〔追加〕</u></p> <p>4 数量算出方法 数量の算出は、「1章 基本事項」によるものとする。</p>	項目	区分	規格	段数	施工	転用回数	単位	数量	備考	土のう締切		○	○	○	×	m ³		中詰土：地山土量	大型土のう締切		○	○	○	○	m(袋)		中詰土：ほぐした土量	中詰土		×	×	×	×	m ³			施工区分	仕拵え～設置～撤去	仕拵え～設置	撤去のみ	<p>表内、字句の削除</p> <p>字句の削除</p> <p>字句の追加</p> <p>字句の追加 表の追加</p>
項目	区分	規格	段数	施工	転用回数	単位	数量	備考																																																																															
土のう締切		○	○	○	×	m ³		中詰土：地山土量																																																																															
大型土のう締切		○	○	○	○	袋		中詰土：ほぐした土量																																																																															
中詰土		×	×	×	×	m ³																																																																																	
施工区分	仕拵え～設置～撤去																																																																																						
	仕拵え～設置																																																																																						
	撤去のみ																																																																																						
施工区分	製作～設置																																																																																						
	製作																																																																																						
	設置																																																																																						
	撤去																																																																																						
項目	区分	規格	段数	施工	転用回数	単位	数量	備考																																																																															
土のう締切		○	○	○	×	m ³		中詰土：地山土量																																																																															
大型土のう締切		○	○	○	○	m(袋)		中詰土：ほぐした土量																																																																															
中詰土		×	×	×	×	m ³																																																																																	
施工区分	仕拵え～設置～撤去																																																																																						
	仕拵え～設置																																																																																						
	撤去のみ																																																																																						

改 正	現 行	備 考																																																																																																																																				
<p>10章 護岸根固め工</p> <p>10.1 かご工</p> <p>【省略】</p> <p>10.3 コンクリートブロック積（張）工</p> <p>1 適用</p> <p>【省略】</p> <p>3 区分</p> <p>区分は、規格、構造とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <p>① 間知ブロック積（施工パッケージ型積算方式を適用）</p> <p>【省略】</p> <p>⑨ 現場打小口止コンクリート、プレキャスト小口止ブロック、現場打横帯（隔壁）コンクリート、プレキャスト横帯（隔壁）ブロック、プレキャスト巻止ブロック</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>規格</th> <th>構造</th> <th>養生工の種類</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現場打小口止コンクリート</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">×</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト小口止ブロック</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト小口止ブロック(材料費)</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現場打横帯（隔壁）コンクリート</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト横帯（隔壁）ブロック</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト横帯(隔壁)ブロック(材料費)</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト巻止ブロック</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト巻止ブロック(材料費)</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>裏込材</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎材</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m²</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 必要に応じて数量を項目ごとに算出する。 2. 現場打小口止コンクリート及び現場打横帯(隔壁)コンクリートについては、体積 (m³) も算出すること。 3. <u>プレキャスト小口止ブロック、プレキャスト横帯（隔壁）ブロックの単位 (m) は法長とする。</u></p> <p>【省略】</p>	項目	区分	規格	構造	養生工の種類	単位	数量	備考	現場打小口止コンクリート	○	×	×	○	m			プレキャスト小口止ブロック	×	m			プレキャスト小口止ブロック(材料費)	×	m			現場打横帯（隔壁）コンクリート	○	m			プレキャスト横帯（隔壁）ブロック	×	m			プレキャスト横帯(隔壁)ブロック(材料費)	×	m			プレキャスト巻止ブロック	×	m			プレキャスト巻止ブロック(材料費)	×	m			裏込材	×	m ³			目地材	×	m ²			基礎材	×	m ²			<p>10章 護岸根固め工</p> <p>10.1 かご工</p> <p>【省略】</p> <p>10.3 コンクリートブロック積（張）工</p> <p>1 適用</p> <p>【省略】</p> <p>3 区分</p> <p>区分は、規格、構造とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <p>① 間知ブロック積（施工パッケージ型積算方式を適用）</p> <p>【省略】</p> <p>⑨ 現場打小口止コンクリート、プレキャスト小口止ブロック、現場打横帯（隔壁）コンクリート、プレキャスト横帯（隔壁）ブロック、プレキャスト巻止ブロック</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>規格</th> <th>構造</th> <th>養生工の種類</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現場打小口止コンクリート</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">×</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト小口止ブロック</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト小口止ブロック(材料費)</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現場打横帯（隔壁）コンクリート</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト横帯（隔壁）ブロック</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト横帯(隔壁)ブロック(材料費)</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト巻止ブロック</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト巻止ブロック(材料費)</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>裏込材</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎材</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m²</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 必要に応じて数量を項目ごとに算出する。 2. 現場打小口止コンクリート及び現場打横帯(隔壁)コンクリートについては、体積 (m³) も算出すること。</p> <p>【省略】</p>	項目	区分	規格	構造	養生工の種類	単位	数量	備考	現場打小口止コンクリート	○	×	×	○	m			プレキャスト小口止ブロック	×	m			プレキャスト小口止ブロック(材料費)	×	m			現場打横帯（隔壁）コンクリート	○	m			プレキャスト横帯（隔壁）ブロック	×	m			プレキャスト横帯(隔壁)ブロック(材料費)	×	m			プレキャスト巻止ブロック	×	m			プレキャスト巻止ブロック(材料費)	×	m			裏込材	×	m ³			目地材	×	m ²			基礎材	×	m ²			<p>字句の追加</p>
項目	区分	規格	構造	養生工の種類	単位	数量	備考																																																																																																																															
現場打小口止コンクリート	○	×	×	○	m																																																																																																																																	
プレキャスト小口止ブロック				×	m																																																																																																																																	
プレキャスト小口止ブロック(材料費)				×	m																																																																																																																																	
現場打横帯（隔壁）コンクリート				○	m																																																																																																																																	
プレキャスト横帯（隔壁）ブロック				×	m																																																																																																																																	
プレキャスト横帯(隔壁)ブロック(材料費)				×	m																																																																																																																																	
プレキャスト巻止ブロック				×	m																																																																																																																																	
プレキャスト巻止ブロック(材料費)				×	m																																																																																																																																	
裏込材				×	m ³																																																																																																																																	
目地材				×	m ²																																																																																																																																	
基礎材				×	m ²																																																																																																																																	
項目				区分	規格	構造	養生工の種類	単位	数量	備考																																																																																																																												
現場打小口止コンクリート	○	×	×	○	m																																																																																																																																	
プレキャスト小口止ブロック				×	m																																																																																																																																	
プレキャスト小口止ブロック(材料費)				×	m																																																																																																																																	
現場打横帯（隔壁）コンクリート				○	m																																																																																																																																	
プレキャスト横帯（隔壁）ブロック				×	m																																																																																																																																	
プレキャスト横帯(隔壁)ブロック(材料費)				×	m																																																																																																																																	
プレキャスト巻止ブロック				×	m																																																																																																																																	
プレキャスト巻止ブロック(材料費)				×	m																																																																																																																																	
裏込材				×	m ³																																																																																																																																	
目地材				×	m ²																																																																																																																																	
基礎材				×	m ²																																																																																																																																	

改 正	現 行	備 考																								
<p>13章 道路工</p> <p>13.1 不陸整正</p> <p>【省略】</p> <p style="text-align: center;"><u>[削除]</u></p> <p>13.8 路面切削工</p> <p>【省略】</p>	<p>13章 道路工</p> <p>13.1 不陸整正</p> <p>【省略】</p> <p><u>13.8 砂利道路路面処理工</u></p> <p><u>1 適用</u> 農道設計指針の「第6章 舗装の設計 6.9.4防塵処理」により、設計施工される工事に適用する。</p> <p><u>2 数量算出項目</u> 砂利道路路面処理の面積を区分ごとに算出する。</p> <p><u>3 区分</u> 区分は、補足材の平均厚さ、表層工の工法とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1" data-bbox="1457 751 2356 877"> <thead> <tr> <th>項目 \ 区分</th> <th>補足材の平均厚さ</th> <th>表層工の工法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂利道路路面処理</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">㎡</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 補足材の平均厚さ区分 補足材の平均厚さ区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1501 989 2018 1058"> <thead> <tr> <th>補足材の平均厚さ</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">10 cm未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">10 cm以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 表層工の工法区分 表層工の工法区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1501 1169 2018 1239"> <thead> <tr> <th>表層工の工法</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">アーマーコート型工法</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">加熱混合型工法</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) プライムコート及び養生砂が必要な場合は別途算出する。</p> <p><u>4 数量算出方法</u> 数量の算出は「1章 基本事項」によるものとする。</p> <p>13.9 路面切削工</p> <p>【省略】</p>	項目 \ 区分	補足材の平均厚さ	表層工の工法	単位	数量	備考	砂利道路路面処理	○	○	㎡			補足材の平均厚さ			10 cm未満		10 cm以上	表層工の工法			アーマーコート型工法		加熱混合型工法	<p>項目の削除</p> <p>番号の改正</p>
項目 \ 区分	補足材の平均厚さ	表層工の工法	単位	数量	備考																					
砂利道路路面処理	○	○	㎡																							
補足材の平均厚さ																										
	10 cm未満																									
	10 cm以上																									
表層工の工法																										
	アーマーコート型工法																									
	加熱混合型工法																									

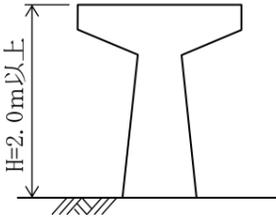
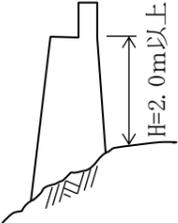
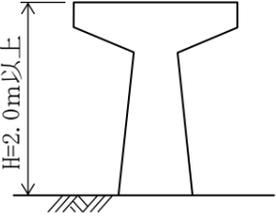
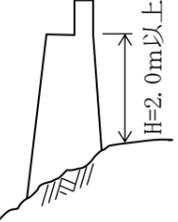
改 正	現 行	備 考																										
<p>14章 道路附属施設工</p> <p>14.1 防護柵設置工</p> <p>【省略】</p> <p>14.3 標識工</p> <p>1 適用</p> <p>【省略】</p> <p>3 区分</p> <p>区分は、構造・種類、規格・仕様とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <p>【省略】</p> <p>(3) 規格・仕様区分</p> <p>規格・仕様区分は、次のとおりとする。</p> <p>① 標識柱（路側式）</p> <table border="1" data-bbox="201 898 988 1270"> <tr> <td rowspan="4">柱の径</td> <td>φ 60.5 mm</td> </tr> <tr> <td>φ 76.3 mm</td> </tr> <tr> <td>φ 89.1 mm</td> </tr> <tr> <td>φ 101.6 mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">柱の塗装仕様</td> <td>メッキ</td> </tr> <tr> <td>下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装 (白色)</td> </tr> <tr> <td>下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装 (景観色)</td> </tr> <tr> <td>静電粉体塗装 (白色)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">支柱区分</td> <td>直支柱</td> </tr> <tr> <td>曲げ支柱</td> </tr> </table> <p>【省略】</p>	柱の径	φ 60.5 mm	φ 76.3 mm	φ 89.1 mm	φ 101.6 mm	柱の塗装仕様	メッキ	下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装 (白色)	下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装 (景観色)	静電粉体塗装 (白色)	支柱区分	直支柱	曲げ支柱	<p>14章 道路附属施設工</p> <p>14.1 防護柵設置工</p> <p>【省略】</p> <p>14.3 標識工</p> <p>1 適用</p> <p>【省略】</p> <p>3 区分</p> <p>区分は、構造・種類、規格・仕様とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <p>【省略】</p> <p>(3) 規格・仕様区分</p> <p>規格・仕様区分は、次のとおりとする。</p> <p>① 標識柱（路側式）</p> <table border="1" data-bbox="1460 898 2246 1270"> <tr> <td rowspan="4">柱の径</td> <td>φ 60.5 mm</td> </tr> <tr> <td>φ 76.3 mm</td> </tr> <tr> <td>φ 89.1 mm</td> </tr> <tr> <td>φ 101.6 mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">柱の塗装仕様</td> <td>メッキ</td> </tr> <tr> <td>下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装</td> </tr> <tr> <td>静電粉体塗装</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">支柱区分</td> <td>直支柱</td> </tr> <tr> <td>曲げ支柱</td> </tr> </table> <p>【省略】</p>	柱の径	φ 60.5 mm	φ 76.3 mm	φ 89.1 mm	φ 101.6 mm	柱の塗装仕様	メッキ	下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装	静電粉体塗装		支柱区分	直支柱	曲げ支柱	<p>表内、字句の追加</p>
柱の径		φ 60.5 mm																										
		φ 76.3 mm																										
		φ 89.1 mm																										
	φ 101.6 mm																											
柱の塗装仕様	メッキ																											
	下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装 (白色)																											
	下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装 (景観色)																											
	静電粉体塗装 (白色)																											
支柱区分	直支柱																											
	曲げ支柱																											
柱の径	φ 60.5 mm																											
	φ 76.3 mm																											
	φ 89.1 mm																											
	φ 101.6 mm																											
柱の塗装仕様	メッキ																											
	下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装																											
	静電粉体塗装																											
支柱区分	直支柱																											
	曲げ支柱																											

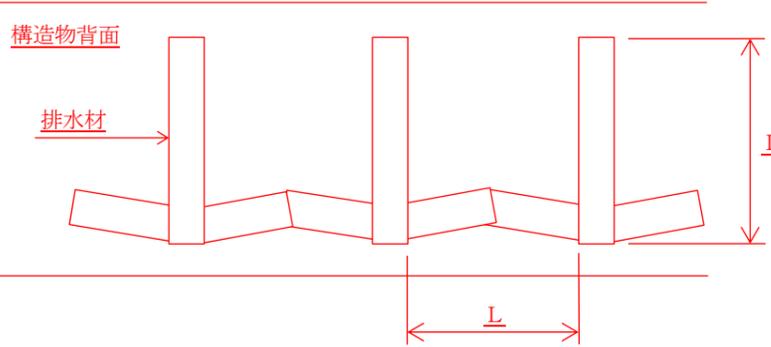
改 正	現 行	備 考																												
<p>14.4 道路付属施設工</p> <p>14.4.1 区画線工</p> <p>1 適用 【省略】</p> <p>3 区分 区分は、施工方法、規格・仕様、施工区間、色、厚さとする。 (1) 数量算出項目及び区分一覧表 【省略】 (3) 規格・仕様区分 規格・仕様の区分は線種、施工幅毎に区分して算出する。</p> <table border="1" data-bbox="240 695 1163 831"> <tr> <td rowspan="4">区画線の種類</td> <td>実線</td> <td rowspan="4">施工幅</td> <td>15 cm</td> </tr> <tr> <td>破線</td> <td>20 cm</td> </tr> <tr> <td>ゼブラ</td> <td>30 cm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>45 cm</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="240 869 1163 936"> <tr> <td>道路標示の種類</td> <td>矢印・記号・文字 (線幅 10 cm以上)</td> <td>施工幅</td> <td>15 cm換算</td> </tr> </table> <p>注) 1. 矢印・記号・文字は、構成する線幅が 10 cm未満のものについて、<u>区分して</u>算出する。 2. 区画線における<u>横断歩道・停止線等</u>はゼブラを適用する。</p> <p>【省略】</p> <p>4 数量算出方法 数量の算出は、「1章 基本事項」によるほか次の方法によるものとする。 (1) 区画線設置 実線・破線・ゼブラについては塗布幅毎の延長を、矢印・記号・文字等については、面積・箇所ごとに 15 cm換算した延長を算出する。ただし、構成する線幅が 10 cm未満の矢印・記号及び文字については、区分して算出する。 なお、破線については、実際に塗布する延長とする。 <u>※15 cm換算の方法については、道路標示施工ハンドブック《(社)北海道道路標示業協会発行》を参考とする。</u></p> <p>【省略】</p>	区画線の種類	実線	施工幅	15 cm	破線	20 cm	ゼブラ	30 cm		45 cm	道路標示の種類	矢印・記号・文字 (線幅 10 cm以上)	施工幅	15 cm換算	<p>14.4 道路付属施設工</p> <p>14.4.1 区画線工</p> <p>1 適用 【省略】</p> <p>3 区分 区分は、施工方法、規格・仕様、施工区間、色、厚さとする。 (1) 数量算出項目及び区分一覧表 【省略】 (3) 規格・仕様区分 規格・仕様の区分は線種、施工幅毎に区分して算出する。</p> <table border="1" data-bbox="1498 695 2421 831"> <tr> <td rowspan="4">区画線の種類</td> <td>実線</td> <td rowspan="4">施工幅</td> <td>15 cm</td> </tr> <tr> <td>破線</td> <td>20 cm</td> </tr> <tr> <td>ゼブラ</td> <td>30 cm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>45 cm</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="1498 869 2421 936"> <tr> <td>道路標示の種類</td> <td>矢印・記号・文字 (線幅 10 cm以上)</td> <td>施工幅</td> <td>15 cm換算</td> </tr> </table> <p>注) 1. 矢印・記号・文字は、構成する線幅が 10 cm未満のものについて、<u>別途</u>算出する。 2. 区画線の<u>溶融式(手動)の横断線</u>はゼブラを適用する。</p> <p>【省略】</p> <p>4 数量算出方法 数量の算出は、「1章 基本事項」によるほか次の方法によるものとする。 (1) 区画線設置 実線・破線・ゼブラについては塗布幅毎の延長を、矢印・記号・文字等については、面積・箇所ごとに 15 cm換算した延長を算出する。ただし、構成する線幅が 10 cm未満の矢印・記号及び文字については、区分して算出する。 なお、破線については、実際に塗布する延長とする。</p> <p>_____</p> <p>【省略】</p>	区画線の種類	実線	施工幅	15 cm	破線	20 cm	ゼブラ	30 cm		45 cm	道路標示の種類	矢印・記号・文字 (線幅 10 cm以上)	施工幅	15 cm換算	<p>字句の改正 //</p> <p>字句の追加</p>
区画線の種類		実線		施工幅	15 cm																									
		破線			20 cm																									
		ゼブラ			30 cm																									
		45 cm																												
道路標示の種類	矢印・記号・文字 (線幅 10 cm以上)	施工幅	15 cm換算																											
区画線の種類	実線	施工幅	15 cm																											
	破線		20 cm																											
	ゼブラ		30 cm																											
			45 cm																											
道路標示の種類	矢印・記号・文字 (線幅 10 cm以上)	施工幅	15 cm換算																											

新 旧 対 照 表

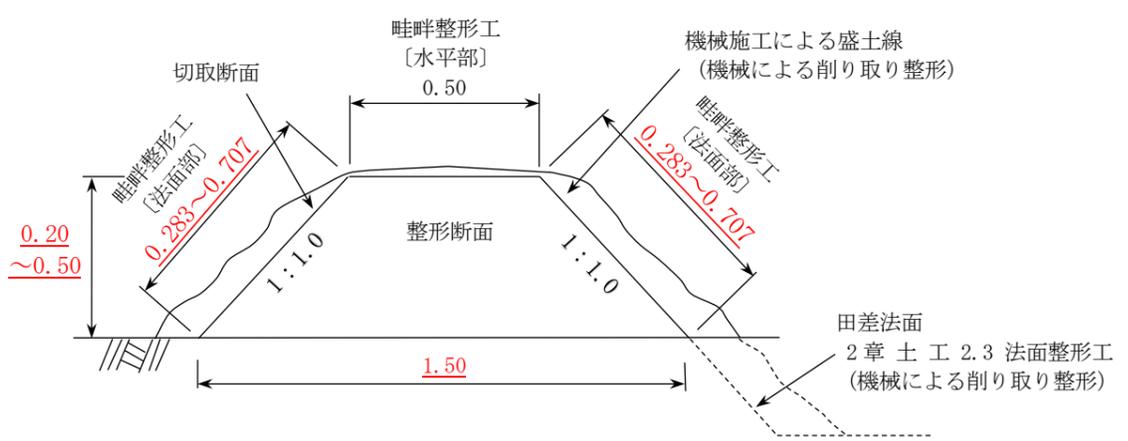
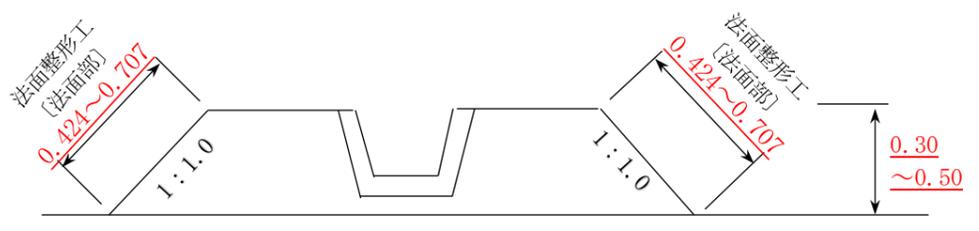
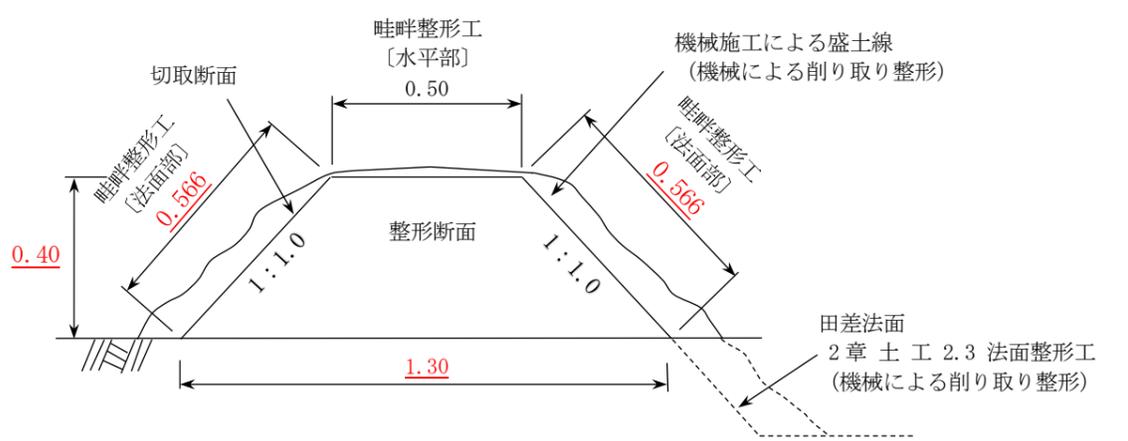
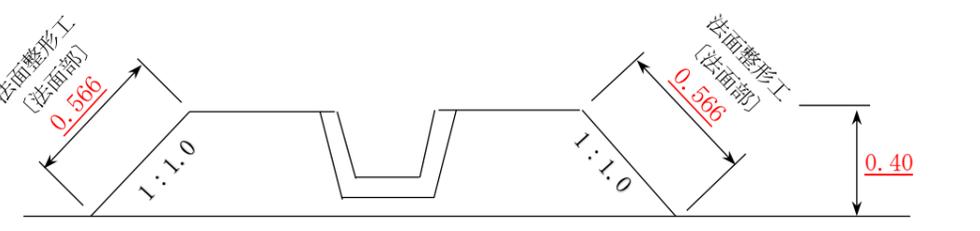
改 正	現 行	備 考																																																																																																																																																						
<p>14.4.2 縁石工</p> <p>1 適用 歩車道境界ブロック、地先境界ブロック、ブロック規格が30 cm×30 cm及び40 cm×40 cmの平板ブロック（透水性ブロック含む）及び視覚障害者誘導用ブロック（点状ブロック、線状ブロック）の設置工及び撤去工に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 歩車道境界ブロック、地先境界ブロックの延長、平板ブロック及び視覚障害者誘導用ブロックの面積を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区分 区分は、規格、作業区分、基礎碎石の有無、均し基礎コンクリート規格、養生工の有無とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>規格</th> <th>作業区分</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均し基礎コンクリート規格</th> <th>養生工の有無</th> <th>m当り使用料(個/m)</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">歩車道境界ブロック</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m</td> <td></td> <td>設置</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td>撤去</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地先境界ブロック</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m</td> <td></td> <td>設置</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td>撤去</td> </tr> <tr> <td>平板ブロック</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>視覚障害者誘導用ブロック</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	項目	区分	規格	作業区分	基礎碎石の有無	均し基礎コンクリート規格	養生工の有無	m当り使用料(個/m)	単位	数量	備考	歩車道境界ブロック	○	○	○	○	○	○	○	m		設置	×	○	×	×	×	×	×	m		撤去	地先境界ブロック	○	○	○	○	○	○	○	m		設置	×	○	×	×	×	×	×	m		撤去	平板ブロック	○	×	×	×	×	×	×	m ²			視覚障害者誘導用ブロック	○	×	×	×	×	×	×	m ²			<p>14.4.2 縁石工</p> <p>1 適用 歩車道境界ブロック、地先境界ブロック、ブロック規格が30 cm×30 cm及び40 cm×40 cmの平板ブロック（透水性ブロック含む）及び視覚障害者誘導用ブロック（点状ブロック、線状ブロック）の設置工及び撤去工に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 歩車道境界ブロック、地先境界ブロックの延長、平板ブロック及び視覚障害者誘導用ブロックの面積を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区分 区分は、規格、作業区分、基礎碎石の有無、均し基礎コンクリート規格、養生工の有無とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>規格</th> <th>作業区分</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均し基礎コンクリート規格</th> <th>養生工の有無</th> <th>m当り使用料(個/m)</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">歩車道境界ブロック</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地先境界ブロック</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>平板ブロック</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>視覚障害者誘導用ブロック</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	項目	区分	規格	作業区分	基礎碎石の有無	均し基礎コンクリート規格	養生工の有無	m当り使用料(個/m)	単位	数量	備考	歩車道境界ブロック	○	○	○	○	○	○	○	m		—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	地先境界ブロック	○	○	○	○	○	○	○	m		—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	平板ブロック	○	×	×	×	×	×	×	m ²			視覚障害者誘導用ブロック	○	×	×	×	×	×	×	m ²			<p>表内、字句の追加</p>
項目	区分	規格	作業区分	基礎碎石の有無	均し基礎コンクリート規格	養生工の有無	m当り使用料(個/m)	単位	数量	備考																																																																																																																																														
歩車道境界ブロック	○	○	○	○	○	○	○	m		設置																																																																																																																																														
	×	○	×	×	×	×	×	m		撤去																																																																																																																																														
地先境界ブロック	○	○	○	○	○	○	○	m		設置																																																																																																																																														
	×	○	×	×	×	×	×	m		撤去																																																																																																																																														
平板ブロック	○	×	×	×	×	×	×	m ²																																																																																																																																																
視覚障害者誘導用ブロック	○	×	×	×	×	×	×	m ²																																																																																																																																																
項目	区分	規格	作業区分	基礎碎石の有無	均し基礎コンクリート規格	養生工の有無	m当り使用料(個/m)	単位	数量	備考																																																																																																																																														
歩車道境界ブロック	○	○	○	○	○	○	○	m		—																																																																																																																																														
	—	—	—	—	—	—	—	—		—																																																																																																																																														
地先境界ブロック	○	○	○	○	○	○	○	m		—																																																																																																																																														
	—	—	—	—	—	—	—	—		—																																																																																																																																														
平板ブロック	○	×	×	×	×	×	×	m ²																																																																																																																																																
視覚障害者誘導用ブロック	○	×	×	×	×	×	×	m ²																																																																																																																																																

改 正	現 行	備 考
<p>15章 鋼橋上部工</p> <p>15.1 鋼材 【省略】</p> <p>15.5 仮設工</p> <p>15.5.1 足場設備工 【省略】</p> <p>15.5.2 防護設備工</p> <p>1 適用 【省略】</p> <p>4 数量算出方法 数量の算出は、「1章 基本事項」によるほか次の方法によるものとする。 防護工必要面積は、次式により算出する。 $A = W \times L$ A：防護工必要面積（㎡） W：全幅員（地覆外縁間距離）（m） L：必要長（m） ただし、トラス、アーチ式、ランガー桁等側面塗装をする場合において飛散防止のためシート防護工を設置する場合は次式により算出する。 $A = \text{側面投影面積（㎡）} \times 2$ A：トラスの側面面積（左右両弦の合計）（㎡）</p> <p><u>ワイヤーブリッジ防護工における橋面積は、次式により算出する。</u> $A = \text{全幅員（地覆外縁間距離）} \times \text{橋長}$</p>	<p>15章 鋼橋上部工</p> <p>15.1 鋼材 【省略】</p> <p>15.5 仮設工</p> <p>15.5.1 足場設備工 【省略】</p> <p>15.5.2 防護設備工</p> <p>1 適用 【省略】</p> <p>4 数量算出方法 数量の算出は、「1章 基本事項」によるほか次の方法によるものとする。 防護工必要面積は、次式により算出する。 $A = W \times L$ A：防護工必要面積（㎡） W：全幅員（地覆外縁間距離）（m） L：必要長（m） ただし、トラス、アーチ式、ランガー桁等側面塗装をする場合において飛散防止のためシート防護工を設置する場合は次式により算出する。 $A = \text{側面投影面積（㎡）} \times 2$ A：トラスの側面面積（左右両弦の合計）（㎡）</p> <hr/>	<p>字句の追加 //</p>

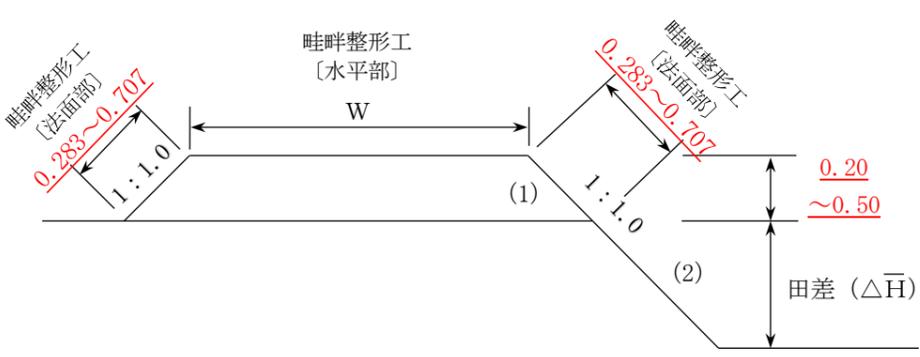
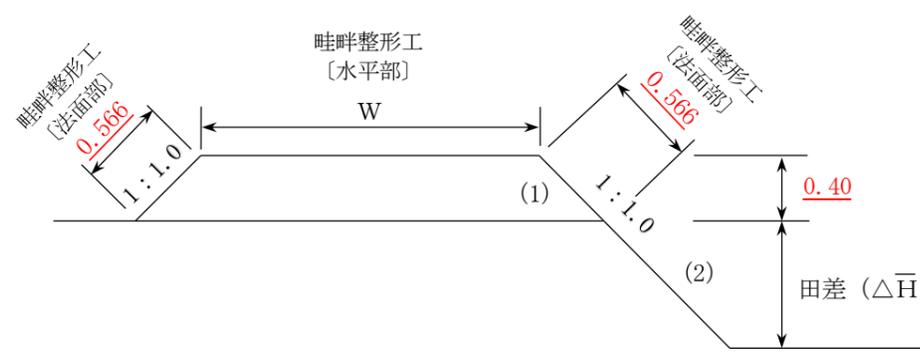
改 正	現 行	備 考
<p>15.5.3 登り栈橋工</p> <p>1 適用 【省略】</p> <p>4 数量算出方法 数量の算出は、「1章 基本事項」によるほか次の方法によるものとする。 橋脚等における登り栈橋については、下記により算出することを原則とする。</p> <p>(1) 橋脚、橋台の高さが2.0m以上となる場合を対象とする。</p> <p>(2) 設置箇所数は、<u>河川内等で設置が困難な場合あるいは設置する必要がない場合を除き、現場状況を勘案し、橋脚、橋台</u>に各1箇所とする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="142 884 222 915">【省略】</div>   </div>	<p>15.5.3 登り栈橋工</p> <p>1 適用 【省略】</p> <p>4 数量算出方法 数量の算出は、「1章 基本事項」によるほか次の方法によるものとする。 橋脚等における登り栈橋については、下記により算出することを原則とする。</p> <p>(1) 橋脚、橋台の高さが2.0m以上となる場合を対象とする。</p> <p>(2) 設置箇所数は<u>2スパンに1箇所または100mに1箇所として、河川をまたぐ場合は兩岸</u>に各1箇所とする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>【省略】</p>	<p>字句の改正</p>

改 正	現 行	備 考												
<p>18.1.13 排水材設置工</p> <p>1 適 用 <u>構造物（橋台、擁壁、ボックスカルバート等）埋戻し背面のコンクリート面に帯状の排水材（全透水型（立体網状体及びメッシュチューブ型等））を設置する作業に適用する。</u></p> <p>2 数量算出項目 <u>排水材設置工の延長を区分ごとに算出する。</u></p> <p>3 区 分 <u>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</u></p> <table border="1" data-bbox="201 506 1006 619"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>幅 厚さ</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>排水材設置工</td> <td></td> <td>○</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><u>注) 1. 排水材の設置方法は、コンクリート釘、接着剤、固定金具等を用いて固定する方法を標準とする。</u> <u>2. 固定金具を用いて固定する金具材料の材料費は、必要に応じて別途計上する。</u> <u>3. 水抜きパイプ等に接続する継手材料の材料費及び施工費は、必要に応じて別途計上する。</u></p> <p>4 数量算出方法 <u>数量の算出は、「1章 基本事項」によるほか次の方法によるものとする。</u> <u>(1) 施工延長（L）のとり方は、下図のとおりとする。</u></p>  <p>【省略】</p>	項目	区分	幅 厚さ	単 位	数 量	備 考	排水材設置工		○	m			<p style="text-align: center;"><u>〔追加〕</u></p> <p style="text-align: center;">【省略】</p>	<p>項目の新設</p>
項目	区分	幅 厚さ	単 位	数 量	備 考									
排水材設置工		○	m											

改 正	現 行	備 考																																																
<p>19章 管水路工</p> <p>19.1 管体基礎工</p> <p>【省略】</p> <p>19.2 管体工</p> <p>19.2.1 管類布設工</p> <p>1 適用</p> <p>【省略】</p> <p>4 数量算出方法</p> <p>数量の算出は、「1章 基本事項」によるほか、次の方法によるものとする。</p> <p>(1) ダクタイル鋳鉄異形管</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目 \ 区分</th> <th style="text-align: center;">口径</th> <th style="text-align: center;">形式</th> <th style="text-align: center;">分類</th> <th style="text-align: center;">塗装</th> <th style="text-align: center;">質量</th> <th style="text-align: center;">単位</th> <th style="text-align: center;">数量</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">ダクタイル鋳鉄異形管</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">kg/個</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 形式区分は、K・T形用及びALW形用に区分する。 2. 分類区分は、下表によるものとし、1類～3類に区分する。 3. 塗装区分は、内面普通塗装及び内面エポキシ粉体塗装に区分する。 4. 質量は、1個当りの質量とし、カタログ等により算出するものとする。</p> <p>1) 分類表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1 類</td> <td>曲管 (45°、22° 1/2、11° 1/4、5° 5/8)、継輪、短管 (1号、2号)、<u>二受T字管</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2 類</td> <td><u>三受十字管</u>、90° 曲管、ラップ口、<u>排水T字管</u>、フランジ付T字管、フランジ短管、片落管、フランジ蓋、人孔蓋</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3 類</td> <td>3フランジT字管、2フランジT字管、<u>フランジ曲管 (45°、90°)</u>、<u>フランジ片落管</u>、<u>仕切弁副管 (A1号、A2号、B1号)</u>、<u>フランジ短管 (乱尺)</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	項目 \ 区分	口径	形式	分類	塗装	質量	単位	数量	備考	ダクタイル鋳鉄異形管	○	○	○	○	○	kg/個			1 類	曲管 (45°、22° 1/2、11° 1/4、5° 5/8)、継輪、短管 (1号、2号)、 <u>二受T字管</u>	2 類	<u>三受十字管</u> 、90° 曲管、ラップ口、 <u>排水T字管</u> 、フランジ付T字管、フランジ短管、片落管、フランジ蓋、人孔蓋	3 類	3フランジT字管、2フランジT字管、 <u>フランジ曲管 (45°、90°)</u> 、 <u>フランジ片落管</u> 、 <u>仕切弁副管 (A1号、A2号、B1号)</u> 、 <u>フランジ短管 (乱尺)</u>	<p>19章 管水路工</p> <p>19.1 管体基礎工</p> <p>【省略】</p> <p>19.2 管体工</p> <p>19.2.1 管類布設工</p> <p>1 適用</p> <p>【省略】</p> <p>4 数量算出方法</p> <p>数量の算出は、「1章 基本事項」によるほか、次の方法によるものとする。</p> <p>(1) ダクタイル鋳鉄異形管</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目 \ 区分</th> <th style="text-align: center;">口径</th> <th style="text-align: center;">形式</th> <th style="text-align: center;">分類</th> <th style="text-align: center;">塗装</th> <th style="text-align: center;">質量</th> <th style="text-align: center;">単位</th> <th style="text-align: center;">数量</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">ダクタイル鋳鉄異形管</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">kg/個</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 形式区分は、K・T形用及びALW形用に区分する。 2. 分類区分は、下表によるものとし、1類～3類に区分する。 3. 塗装区分は、内面普通塗装及び内面エポキシ粉体塗装に区分する。 4. 質量は、1個当りの質量とし、カタログ等により算出するものとする。</p> <p>1) 分類表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1 類</td> <td>曲管 (45°、22° 1/2、11° 1/4、5° 5/8)、継輪、短管 (1号、2号)、<u>_____</u>T字管</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2 類</td> <td><u>_____</u>十字管、90° 曲管、ラップ口、<u>制水弁副管</u>、<u>排吐管</u>、<u>_____</u>フランジ付T字管、フランジ短管、片落管、フランジ蓋、人孔蓋</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3 類</td> <td>3フランジT字管、2フランジT字管、<u>2</u>フランジ曲管 (45°、90°)、<u>2</u>フランジ片落管、<u>乙字管</u>、<u>仕切弁副管 (1・2F)</u>、<u>乱尺短管</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	項目 \ 区分	口径	形式	分類	塗装	質量	単位	数量	備考	ダクタイル鋳鉄異形管	○	○	○	○	○	kg/個			1 類	曲管 (45°、22° 1/2、11° 1/4、5° 5/8)、継輪、短管 (1号、2号)、 <u>_____</u> T字管	2 類	<u>_____</u> 十字管、90° 曲管、ラップ口、 <u>制水弁副管</u> 、 <u>排吐管</u> 、 <u>_____</u> フランジ付T字管、フランジ短管、片落管、フランジ蓋、人孔蓋	3 類	3フランジT字管、2フランジT字管、 <u>2</u> フランジ曲管 (45°、90°)、 <u>2</u> フランジ片落管、 <u>乙字管</u> 、 <u>仕切弁副管 (1・2F)</u> 、 <u>乱尺短管</u>	<p>表内、字句の追加、削除、改正</p>
項目 \ 区分	口径	形式	分類	塗装	質量	単位	数量	備考																																										
ダクタイル鋳鉄異形管	○	○	○	○	○	kg/個																																												
1 類	曲管 (45°、22° 1/2、11° 1/4、5° 5/8)、継輪、短管 (1号、2号)、 <u>二受T字管</u>																																																	
2 類	<u>三受十字管</u> 、90° 曲管、ラップ口、 <u>排水T字管</u> 、フランジ付T字管、フランジ短管、片落管、フランジ蓋、人孔蓋																																																	
3 類	3フランジT字管、2フランジT字管、 <u>フランジ曲管 (45°、90°)</u> 、 <u>フランジ片落管</u> 、 <u>仕切弁副管 (A1号、A2号、B1号)</u> 、 <u>フランジ短管 (乱尺)</u>																																																	
項目 \ 区分	口径	形式	分類	塗装	質量	単位	数量	備考																																										
ダクタイル鋳鉄異形管	○	○	○	○	○	kg/個																																												
1 類	曲管 (45°、22° 1/2、11° 1/4、5° 5/8)、継輪、短管 (1号、2号)、 <u>_____</u> T字管																																																	
2 類	<u>_____</u> 十字管、90° 曲管、ラップ口、 <u>制水弁副管</u> 、 <u>排吐管</u> 、 <u>_____</u> フランジ付T字管、フランジ短管、片落管、フランジ蓋、人孔蓋																																																	
3 類	3フランジT字管、2フランジT字管、 <u>2</u> フランジ曲管 (45°、90°)、 <u>2</u> フランジ片落管、 <u>乙字管</u> 、 <u>仕切弁副管 (1・2F)</u> 、 <u>乱尺短管</u>																																																	

改 正	現 行	備 考
<p>21章 ほ場整備工</p> <p>21.1 設計数量算出の基本的な考え方 【省略】</p> <p>21.4 畦畔整形工</p> <p>1 適用 【省略】</p> <p>4 数量算出方法 数量の算出は「1章 基本事項」によるほか次の方法による。</p> <p>4-1 一般畦畔</p>  <p>(1) 整形面積 (標準断面) [(例) 畦畔高 0.50m] $A_o = (1.41 + 0.50) \times \text{畦畔延長} \text{ (m}^2\text{)}$ $(0.50 \times 1.414 \times 2 + 0.50)$ ※畦畔法長 $0.50 \times 1.414 \approx 0.707$</p> <p>4-2 V型トラフ、農道附帯両畦畔</p>  <p>(1) 法面積 (標準断面) [(例) 畦畔高 0.50m] $A_o = 1.41 \times \text{水路延長} \text{ (m}^2\text{)}$ $(0.50 \times 1.414 \times 2)$ ※法長 $0.50 \times 1.414 \approx 0.707$</p>	<p>21章 ほ場整備工</p> <p>21.1 設計数量算出の基本的な考え方 【省略】</p> <p>21.4 畦畔整形工</p> <p>1 適用 【省略】</p> <p>4 数量算出方法 数量の算出は「1章 基本事項」によるほか次の方法による。</p> <p>4-1 一般畦畔</p>  <p>(1) 整形面積 (標準断面) _____ $A_o = (1.13 + 0.50) \times \text{畦畔延長} \text{ (m}^2\text{)}$ $(0.40 \times 1.414 \times 2 + 0.50)$ ※畦畔法長 $0.40 \times 1.414 \approx 0.566$</p> <p>4-2 V型トラフ、農道附帯両畦畔</p>  <p>(1) 法面積 (標準断面) _____ $A_o = 1.13 \times \text{水路延長} \text{ (m}^2\text{)}$ $(0.40 \times 1.414 \times 2)$ ※法長 $0.40 \times 1.414 \approx 0.566$</p>	<p>詳細図内、数値の改正</p> <p>字句の追加 数値の改正 " "</p> <p>詳細図内、数値の改正</p> <p>字句の追加 数値の改正 " "</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>4-3 農道（幅広畦畔） 整地工の流用土等によって造成される農道（支線農道程度で厳密な転圧を要するもの、路盤改良を行うもの等は除く）の法面仕上げに適用する。</p>  <p>(1) 畦畔対応法面及び水平面積（畦畔整形工） <u>[(例) 畦畔高 0.50m]</u> $A_o = (1.41 + W) \times \text{農道延長 (m)}$ 【省略】</p>	<p>4-3 農道（幅広畦畔） 整地工の流用土等によって造成される農道（支線農道程度で厳密な転圧を要するもの、路盤改良を行うもの等は除く）の法面仕上げに適用する。</p>  <p>(1) 畦畔対応法面及び水平面積（畦畔整形工） _____ $A_o = (1.13 + W) \times \text{農道延長 (m)}$ 【省略】</p>	<p>詳細図内、数値の改正</p> <p>字句の追加 数値の改正</p>

改 正	現 行	備 考																																																																																																																																																																														
<p>21.5 暗渠排水工</p> <p>21.5.1 暗渠排水工の数量について 【省略】</p> <p>21.5.2 暗渠排水工</p> <p>1 適用 暗渠排水工を行う場合に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 暗渠排水の延長を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区分 区分は、掘削深、管種、口径、配線タイプ、田畑、疎水材、作業条件、小運搬、機種とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>掘削深</th> <th>管種</th> <th>口径</th> <th>配線タイプ</th> <th>田畑</th> <th>疎水材</th> <th>作業条件</th> <th>小運搬</th> <th>機種</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>暗渠排水管布設</td> <td></td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>暗渠排水掘削</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>m</td> <td></td> <td>平均掘削深は10cm単位</td> </tr> <tr> <td>補助暗渠排水掘削</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td>平均掘削深は10cm単位</td> </tr> <tr> <td>暗渠排水埋戻し</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>疎水材投入</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>(7) 疎水材区分 疎水材の区分は、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">疎水材</th> <th rowspan="2">有機物</th> <th>チップ類 (カラマツ他)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ソダ・ヨシ類、笹類</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">鉱質物</th> <td>砂・砂利類</td> </tr> <tr> <td>火山礫、火山灰</td> </tr> <tr> <th>その他</th> <td colspan="2">土壌改良材 (団粒促進材)、貝殻</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	項目	区分	掘削深	管種	口径	配線タイプ	田畑	疎水材	作業条件	小運搬	機種	単位	数量	備考	暗渠排水管布設		×	○	○	○	×	×	×	○	×	m			暗渠排水掘削		○	×	×	×	×	×	○	×	○	m		平均掘削深は10cm単位	補助暗渠排水掘削		○	×	×	×	×	×	○	×	×	m		平均掘削深は10cm単位	暗渠排水埋戻し		×	×	×	×	○	×	○	×	×	m			疎水材投入		×	×	×	×	○	○	×	○	○	m ³			疎水材	有機物	チップ類 (カラマツ他)	ソダ・ヨシ類、笹類	鉱質物	砂・砂利類	火山礫、火山灰	その他	土壌改良材 (団粒促進材)、貝殻		<p>21.5 暗渠排水工</p> <p>21.5.1 暗渠排水工の数量について 【省略】</p> <p>21.5.2 暗渠排水工</p> <p>1 適用 暗渠排水工を行う場合に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 暗渠排水の延長を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区分 区分は、掘削深、管種、口径、配線タイプ、田畑、疎水材、作業条件、小運搬、機種とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>掘削深</th> <th>管種</th> <th>口径</th> <th>配線タイプ</th> <th>田畑</th> <th>疎水材</th> <th>作業条件</th> <th>小運搬</th> <th>機種</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>暗渠排水管布設</td> <td></td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>暗渠排水掘削</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>m</td> <td></td> <td>平均掘削深は10cm単位</td> </tr> <tr> <td>暗渠排水埋戻し</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>疎水材投入</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>(7) 疎水材区分 疎水材の区分は、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">疎水材</th> <th rowspan="2">有機物</th> <th>チップ類 (カラマツ他)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ソダ・ヨシ類、笹類</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">鉱質物</th> <td>砂・砂利類</td> </tr> <tr> <td>火山礫、火山灰</td> </tr> <tr> <th>その他</th> <td colspan="2">土壌改良材 (団粒促進材)、貝殻</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	項目	区分	掘削深	管種	口径	配線タイプ	田畑	疎水材	作業条件	小運搬	機種	単位	数量	備考	暗渠排水管布設		×	○	○	○	×	×	×	○	×	m			暗渠排水掘削		○	○	×	×	×	×	○	×	○	m		平均掘削深は10cm単位	暗渠排水埋戻し		○	×	×	×	○	×	×	×	○	m			疎水材投入		×	×	×	×	○	○	×	○	○	m ³			疎水材	有機物	チップ類 (カラマツ他)	ソダ・ヨシ類、笹類	鉱質物	砂・砂利類	火山礫、火山灰	その他	土壌改良材 (団粒促進材)、貝殻		<p>表内、字句の追加及び改正</p> <p>表内、字句の削除</p>
項目	区分	掘削深	管種	口径	配線タイプ	田畑	疎水材	作業条件	小運搬	機種	単位	数量	備考																																																																																																																																																																			
暗渠排水管布設		×	○	○	○	×	×	×	○	×	m																																																																																																																																																																					
暗渠排水掘削		○	×	×	×	×	×	○	×	○	m		平均掘削深は10cm単位																																																																																																																																																																			
補助暗渠排水掘削		○	×	×	×	×	×	○	×	×	m		平均掘削深は10cm単位																																																																																																																																																																			
暗渠排水埋戻し		×	×	×	×	○	×	○	×	×	m																																																																																																																																																																					
疎水材投入		×	×	×	×	○	○	×	○	○	m ³																																																																																																																																																																					
疎水材	有機物	チップ類 (カラマツ他)																																																																																																																																																																														
		ソダ・ヨシ類、笹類																																																																																																																																																																														
鉱質物	砂・砂利類																																																																																																																																																																															
	火山礫、火山灰																																																																																																																																																																															
その他	土壌改良材 (団粒促進材)、貝殻																																																																																																																																																																															
項目	区分	掘削深	管種	口径	配線タイプ	田畑	疎水材	作業条件	小運搬	機種	単位	数量	備考																																																																																																																																																																			
暗渠排水管布設		×	○	○	○	×	×	×	○	×	m																																																																																																																																																																					
暗渠排水掘削		○	○	×	×	×	×	○	×	○	m		平均掘削深は10cm単位																																																																																																																																																																			
暗渠排水埋戻し		○	×	×	×	○	×	×	×	○	m																																																																																																																																																																					
疎水材投入		×	×	×	×	○	○	×	○	○	m ³																																																																																																																																																																					
疎水材	有機物	チップ類 (カラマツ他)																																																																																																																																																																														
		ソダ・ヨシ類、笹類																																																																																																																																																																														
鉱質物	砂・砂利類																																																																																																																																																																															
	火山礫、火山灰																																																																																																																																																																															
その他	土壌改良材 (団粒促進材)、貝殻																																																																																																																																																																															

改 正	現 行	備 考																																																									
<p>21.6 客土準備工</p> <p>1 適 用 <u>除雪せずに置土すると春の融雪遅れを生じる恐れがある場合のほ場の圧雪及び除雪作業、または冬季における客土工事で施工期間の平均積雪深が 10 cm～80 cm の場合のほ場、土取場・堆積場の除雪及び客入後のほ場への雪戻し作業に適用する。</u></p> <p>2 数量算出項目 <u>除雪量、除雪面積を区分ごとに算出する。</u></p> <p>3 区 分 <u>区分は、施工箇所、積雪深とする。</u></p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>施工箇所</th> <th>積雪深</th> <th>単位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ほ場除雪 (坪置き箇所のみ)</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ほ場圧雪</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">ha</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ほ場除雪 (全面)</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">ha</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ほ場雪戻し (全面)</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">ha</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><u>注) 除雪費等は、仮設工に計上する。</u></p> <p>(2) 施工箇所区分 <u>施工箇所区分は、次のとおりとする。</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>ほ場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>土取場・堆積場</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 積雪深区分 <u>積雪深区分は、次のとおりとする。</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積雪深</th> <th>10 cm以上 40 cm以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>40 cm超え 80 cm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 数量算出方法 数量算出は、「1章 基本事項」によるほか、次の方法によるものとする。</p> <p>(1) ほ場除雪 (坪置き箇所のみ)、ほ場圧雪</p> <ol style="list-style-type: none"> 客入土を客入土量 V (m³/10 a) 別に適当な間隔で置土した場合の除雪面積率 $\alpha = 3V / 10 a$ 除雪深 H_o = 積雪深 H - 0.3 (m) ※H_o は圧雪後の除雪深 ほ場面積を A とすれば除雪量は A × (H - 0.3) × 3 × V / 1,000 m³ ほ場圧雪面積 除雪を行う場合は A × 2/3 とする。 ほ場除雪面積率表 <table border="1"> <thead> <tr> <th>10 a 当り土量 V</th> <th>50 m³</th> <th>75 m³</th> <th>100 m³</th> <th>125 m³</th> <th>150 m³</th> <th>175 m³</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面積率 α</td> <td>15%</td> <td>22%</td> <td>30%</td> <td>38%</td> <td>45%</td> <td>52%</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表の 10 a 当り土量に近い方の面積率を用いる。</p>	項目	区分	施工箇所	積雪深	単位	数 量	備 考	ほ場除雪 (坪置き箇所のみ)		×	×	m ³			ほ場圧雪		×	×	ha			ほ場除雪 (全面)		○	○	ha			ほ場雪戻し (全面)		○	○	ha			施工箇所	ほ場		土取場・堆積場	積雪深	10 cm以上 40 cm以下		40 cm超え 80 cm以下	10 a 当り土量 V	50 m ³	75 m ³	100 m ³	125 m ³	150 m ³	175 m ³	面積率 α	15%	22%	30%	38%	45%	52%	<p>[追加]</p>	<p>項目の新設</p>
項目	区分	施工箇所	積雪深	単位	数 量	備 考																																																					
ほ場除雪 (坪置き箇所のみ)		×	×	m ³																																																							
ほ場圧雪		×	×	ha																																																							
ほ場除雪 (全面)		○	○	ha																																																							
ほ場雪戻し (全面)		○	○	ha																																																							
施工箇所	ほ場																																																										
	土取場・堆積場																																																										
積雪深	10 cm以上 40 cm以下																																																										
	40 cm超え 80 cm以下																																																										
10 a 当り土量 V	50 m ³	75 m ³	100 m ³	125 m ³	150 m ³	175 m ³																																																					
面積率 α	15%	22%	30%	38%	45%	52%																																																					

改 正	現 行	備 考																																																	
<p>22 章 農地造成工</p> <p>22.1 レーキドーザ除根・排根</p> <p>【省略】</p> <p style="text-align: center;"><u>〔削除〕</u></p>	<p>22 章 農地造成工</p> <p>22.1 レーキドーザ除根・排根</p> <p>【省略】</p> <p>22.3 深耕及び反転客土工</p> <p>1 適 用 耕起深 60 cm 程度までの深耕及び反転客土に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 深耕及び反転客土の面積を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区 分 区分は、<u>施工、土質、乾湿、作業条件、傾斜、耕深、ほ場長辺の長さ</u>とする。</p> <p>(1) <u>数量算出項目及び区分一覧表</u></p> <table border="1" data-bbox="1457 789 2605 900"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>施工</th> <th>土質</th> <th>乾湿</th> <th>作業条件</th> <th>傾斜</th> <th>耕深</th> <th>ほ場長辺の長さ</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>深耕及び反転客土</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>ha</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) <u>施工区分</u> 施工区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1498 1012 1938 1081"> <thead> <tr> <th>施 工</th> <th>既墾地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>未墾地</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) <u>土質区分</u> 土質区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1498 1192 1938 1362"> <thead> <tr> <th rowspan="5">土 質</th> <th>砂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火山灰</td> </tr> <tr> <td>砂質土</td> </tr> <tr> <td>泥炭</td> </tr> <tr> <td>粘性土</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) <u>乾湿区分</u> 乾湿区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1498 1474 1938 1543"> <thead> <tr> <th>乾 湿</th> <th>乾燥型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>湿潤型</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) <u>作業条件区分</u> 作業条件区分は、次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1498 1654 2012 1892"> <thead> <tr> <th rowspan="6">作業条件</th> <th rowspan="3">未墾地</th> <th>良 好</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通</td> </tr> <tr> <td>やや不良</td> </tr> <tr> <th rowspan="3">既墾地</th> <th>不 良</th> </tr> <tr> <td>良 好</td> </tr> <tr> <td>普 通</td> </tr> <tr> <td></td> <td>不 良</td> </tr> </tbody> </table>	項目	区分	施工	土質	乾湿	作業条件	傾斜	耕深	ほ場長辺の長さ	単位	数量	備考	深耕及び反転客土		○	○	○	○	○	○	○	ha			施 工	既墾地		未墾地	土 質	砂	火山灰	砂質土	泥炭	粘性土	乾 湿	乾燥型		湿潤型	作業条件	未墾地	良 好	普 通	やや不良	既墾地	不 良	良 好	普 通		不 良	<p>項目の削除</p>
項目	区分	施工	土質	乾湿	作業条件	傾斜	耕深	ほ場長辺の長さ	単位	数量	備考																																								
深耕及び反転客土		○	○	○	○	○	○	○	ha																																										
施 工	既墾地																																																		
	未墾地																																																		
土 質	砂																																																		
	火山灰																																																		
	砂質土																																																		
	泥炭																																																		
	粘性土																																																		
乾 湿	乾燥型																																																		
	湿潤型																																																		
作業条件	未墾地	良 好																																																	
		普 通																																																	
		やや不良																																																	
	既墾地	不 良																																																	
		良 好																																																	
		普 通																																																	
	不 良																																																		

改 正	現 行	備 考																																																																																													
<p>22. <u>10</u> <u>心土破碎</u></p> <p>1 適用 農地造成工事のパンプレーカによる心土破碎_____の作業に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 心土破碎_____の面積を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区分 区分は、土質、乾湿、ほ場長辺の長さ、傾斜、爪間隔、作業条件とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>土 質</th> <th>乾 湿</th> <th>ほ場長辺 の長さ</th> <th>傾 斜</th> <th>爪間隔</th> <th>作業 条件</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心土破碎</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>ha</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 土質区分 【省略】</p> <p>(4) ほ場長辺の長さ区分 ほ場長辺の長さ区分は次のとおりとする。 心土破碎の場合</p> <table border="1"> <tr><td rowspan="7">ほ場長辺の長さ</td><td>125m未満</td></tr> <tr><td>125m以上 175m未満</td></tr> <tr><td>175m以上 225m未満</td></tr> <tr><td>225m以上 275m未満</td></tr> <tr><td>275m以上 325m未満</td></tr> <tr><td>325m以上 375m未満</td></tr> <tr><td>375m以上</td></tr> </table> <p>注) 矩形以外のほ場長編の長さについては「22.7 砕土、4 参考」を参照する。</p> <p>_____</p> <p style="text-align: center;"><u>[削除]</u></p> <p>_____</p> <p>_____</p>	項目	区分	土 質	乾 湿	ほ場長辺 の長さ	傾 斜	爪間隔	作業 条件	単 位	数 量	備 考	心土破碎		○	○	○	×	×	○	ha			_____		—	—	—	—	—	—	—			ほ場長辺の長さ	125m未満	125m以上 175m未満	175m以上 225m未満	225m以上 275m未満	275m以上 325m未満	325m以上 375m未満	375m以上	<p>22. <u>11</u> <u>心土破碎及び透水渠掘削</u></p> <p>1 適用 農地造成工事のパンプレーカによる心土破碎<u>及び透水渠</u>の作業に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 心土破碎<u>または透水渠</u>の面積を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区分 区分は、土質、乾湿、ほ場長辺の長さ、傾斜、爪間隔、作業条件とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>土 質</th> <th>乾 湿</th> <th>ほ場長辺 の長さ</th> <th>傾 斜</th> <th>爪間隔</th> <th>作業 条件</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心土破碎</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>ha</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>透水渠掘削</u></td> <td></td> <td><u>○</u></td> <td><u>○</u></td> <td><u>○</u></td> <td><u>○</u></td> <td><u>○</u></td> <td><u>○</u></td> <td><u>ha</u></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 土質区分 【省略】</p> <p>(4) ほ場長辺の長さ区分 ほ場長辺の長さ区分は次のとおりとする。 心土破碎の場合</p> <table border="1"> <tr><td rowspan="7">ほ場長辺の長さ</td><td>125m未満</td></tr> <tr><td>125m以上 175m未満</td></tr> <tr><td>175m以上 225m未満</td></tr> <tr><td>225m以上 275m未満</td></tr> <tr><td>275m以上 325m未満</td></tr> <tr><td>325m以上 375m未満</td></tr> <tr><td>375m以上</td></tr> </table> <p>注) 矩形以外のほ場長編の長さについては「22.7 砕土、4 参考」を参照する。</p> <p><u>透水渠の場合</u></p> <table border="1"> <tr><td rowspan="10"><u>ほ場長辺の長さ</u></td><td><u>75m</u></td></tr> <tr><td><u>85m</u></td></tr> <tr><td><u>100m</u></td></tr> <tr><td><u>125m</u></td></tr> <tr><td><u>150m</u></td></tr> <tr><td><u>200m</u></td></tr> <tr><td><u>250m</u></td></tr> <tr><td><u>300m</u></td></tr> <tr><td><u>350m</u></td></tr> <tr><td><u>400m</u></td></tr> </table> <p>注) 1. <u>本表は、片掛の場合である。</u> 2. <u>表に示されていないほ場長辺の長さの場合は、近いほうの長さとする。</u> 3. <u>矩形以外のほ場長編の長さについては「22.7 砕土、4 参考」を参照する。</u></p>	項目	区分	土 質	乾 湿	ほ場長辺 の長さ	傾 斜	爪間隔	作業 条件	単 位	数 量	備 考	心土破碎		○	○	○	×	×	○	ha			<u>透水渠掘削</u>		<u>○</u>	<u>○</u>	<u>○</u>	<u>○</u>	<u>○</u>	<u>○</u>	<u>ha</u>			ほ場長辺の長さ	125m未満	125m以上 175m未満	175m以上 225m未満	225m以上 275m未満	275m以上 325m未満	325m以上 375m未満	375m以上	<u>ほ場長辺の長さ</u>	<u>75m</u>	<u>85m</u>	<u>100m</u>	<u>125m</u>	<u>150m</u>	<u>200m</u>	<u>250m</u>	<u>300m</u>	<u>350m</u>	<u>400m</u>	<p>字句の削除及び 番号の改正</p> <p>字句の削除</p> <p>字句の削除</p> <p>表内、字句の削除</p> <p>字句の削除 表の削除</p> <p>字句の削除 // //</p>
項目	区分	土 質	乾 湿	ほ場長辺 の長さ	傾 斜	爪間隔	作業 条件	単 位	数 量	備 考																																																																																					
心土破碎		○	○	○	×	×	○	ha																																																																																							
_____		—	—	—	—	—	—	—																																																																																							
ほ場長辺の長さ	125m未満																																																																																														
	125m以上 175m未満																																																																																														
	175m以上 225m未満																																																																																														
	225m以上 275m未満																																																																																														
	275m以上 325m未満																																																																																														
	325m以上 375m未満																																																																																														
	375m以上																																																																																														
項目	区分	土 質	乾 湿	ほ場長辺 の長さ	傾 斜	爪間隔	作業 条件	単 位	数 量	備 考																																																																																					
心土破碎		○	○	○	×	×	○	ha																																																																																							
<u>透水渠掘削</u>		<u>○</u>	<u>○</u>	<u>○</u>	<u>○</u>	<u>○</u>	<u>○</u>	<u>ha</u>																																																																																							
ほ場長辺の長さ	125m未満																																																																																														
	125m以上 175m未満																																																																																														
	175m以上 225m未満																																																																																														
	225m以上 275m未満																																																																																														
	275m以上 325m未満																																																																																														
	325m以上 375m未満																																																																																														
	375m以上																																																																																														
<u>ほ場長辺の長さ</u>	<u>75m</u>																																																																																														
	<u>85m</u>																																																																																														
	<u>100m</u>																																																																																														
	<u>125m</u>																																																																																														
	<u>150m</u>																																																																																														
	<u>200m</u>																																																																																														
	<u>250m</u>																																																																																														
	<u>300m</u>																																																																																														
	<u>350m</u>																																																																																														
	<u>400m</u>																																																																																														

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																									
<p>_____</p> <p>_____</p> <p style="text-align: right;"><u>[削除]</u></p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p style="text-align: right;"><u>[削除]</u></p> <p>_____</p> <p style="text-align: right;"><u>[削除]</u></p> <p>【省略】</p> <p>22.11 播種施肥</p> <p>1 適用</p> <p>【省略】</p> <p>3 区分</p> <p>区分は、ほ場長辺の長さとする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <p>【省略】</p> <p>(2) ほ場長辺の長さ区分</p> <p>ほ場長辺の長さ区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="240 1461 739 1598"> <tr><td rowspan="4">ほ場長辺の長さ</td><td>150m未満</td></tr> <tr><td>150m以上 250m未満</td></tr> <tr><td>250m以上 350m未満</td></tr> <tr><td>350m以上</td></tr> </table> <p>注) 矩形以外のほ場長編の長さについては「22.6 砕土、4 参考」を参照する。</p> <p>22.12 リップドーザ岩掘削</p> <p>【省略】</p> <p>22.13 排根線除去</p> <p>【省略】</p>	ほ場長辺の長さ	150m未満	150m以上 250m未満	250m以上 350m未満	350m以上	<p>(5) 傾斜区分</p> <p>傾斜区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1498 264 1997 367"> <tr><td rowspan="3">傾 斜</td><td>0° ~ 3° 未満</td></tr> <tr><td>3° ~ 6° 未満</td></tr> <tr><td>6° ~ 7° 未満</td></tr> </table> <p>(6) 爪間隔区分</p> <p>爪間隔区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1498 478 1997 548"> <tr><td rowspan="2">爪間隔</td><td>90 cm</td></tr> <tr><td>75 cm</td></tr> </table> <p>(7) 作業条件区分</p> <p>作業条件区分は、次のとおりとする。</p> <p>心土破碎の場合</p> <table border="1" data-bbox="1498 697 1926 766"> <tr><td rowspan="2">作業条件</td><td>標 準</td></tr> <tr><td>障害あり</td></tr> </table> <p>透水渠の場合</p> <table border="1" data-bbox="1498 823 1926 957"> <tr><td rowspan="4">作業条件</td><td>良 好</td></tr> <tr><td>普 通</td></tr> <tr><td>やや不良</td></tr> <tr><td>不 良</td></tr> </table> <p>【省略】</p> <p>22.12 播種施肥</p> <p>1 適用</p> <p>【省略】</p> <p>3 区分</p> <p>区分は、ほ場長辺の長さとする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <p>【省略】</p> <p>(2) ほ場長辺の長さ区分</p> <p>ほ場長辺の長さ区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1498 1461 1997 1598"> <tr><td rowspan="4">ほ場長辺の長さ</td><td>150m未満</td></tr> <tr><td>150m以上 250m未満</td></tr> <tr><td>250m以上 350m未満</td></tr> <tr><td>350m以上</td></tr> </table> <p>注) 矩形以外のほ場長編の長さについては「22.7 砕土、4 参考」を参照する。</p> <p>22.13 リップドーザ岩掘削</p> <p>【省略】</p> <p>22.14 排根線除去</p> <p>【省略】</p>	傾 斜	0° ~ 3° 未満	3° ~ 6° 未満	6° ~ 7° 未満	爪間隔	90 cm	75 cm	作業条件	標 準	障害あり	作業条件	良 好	普 通	やや不良	不 良	ほ場長辺の長さ	150m未満	150m以上 250m未満	250m以上 350m未満	350m以上	<p>字句の削除 " 表の削除</p> <p>字句の削除 " 表の削除</p> <p>番号の改正</p> <p>字句の削除 表の削除</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p>
ほ場長辺の長さ		150m未満																									
		150m以上 250m未満																									
		250m以上 350m未満																									
	350m以上																										
傾 斜	0° ~ 3° 未満																										
	3° ~ 6° 未満																										
	6° ~ 7° 未満																										
爪間隔	90 cm																										
	75 cm																										
作業条件	標 準																										
	障害あり																										
作業条件	良 好																										
	普 通																										
	やや不良																										
	不 良																										
ほ場長辺の長さ	150m未満																										
	150m以上 250m未満																										
	250m以上 350m未満																										
	350m以上																										

改 正	現 行	備 考																																														
<p style="text-align: center;"><u>[削除]</u></p>	<p>22.15 混層耕（Ⅱ）</p> <p>1 適 用 耕起深 40 cm までの深耕に適用する。 ただし、粗粒質火山灰性土壌で 2 連プラウによる作業が可能な地域に限り適用する。</p> <p>2 数量算出項目 混層耕の面積を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区 分 区分は、ほ場長辺の長さ、土質、乾湿、作業条件、傾斜とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1" data-bbox="1457 583 2605 695"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>ほ場長辺 の長さ</th> <th>土 質</th> <th>乾 湿</th> <th>作業条件</th> <th>傾 斜</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>混層耕</td> <td></td> <td>〇</td> <td>〇</td> <td>〇</td> <td>〇</td> <td>〇</td> <td>ha</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ほ場長辺の長さ区分 ほ場長辺の長さ区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1498 768 1997 1108"> <thead> <tr> <th>ほ場長辺の長さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>75m</td></tr> <tr><td>85m</td></tr> <tr><td>100m</td></tr> <tr><td>125m</td></tr> <tr><td>150m</td></tr> <tr><td>200m</td></tr> <tr><td>250m</td></tr> <tr><td>300m</td></tr> <tr><td>350m</td></tr> <tr><td>400m</td></tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 表に示されていないほ場長辺の長さの場合は、近いほうの長さとする。 2. 矩形以外のほ場長編の長さについては「22.7 砕土、4 参考」を参照する。</p> <p>(3) 土質区分 土質区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1498 1251 1997 1388"> <thead> <tr> <th>土 質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>砂</td></tr> <tr><td>火山灰</td></tr> <tr><td>砂質土</td></tr> <tr><td>泥炭</td></tr> </tbody> </table> <p>(4) 乾湿区分 乾湿区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1498 1461 1997 1535"> <thead> <tr> <th>乾 湿</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>乾燥型</td></tr> <tr><td>湿潤型</td></tr> </tbody> </table> <p>(5) 作業条件区分 作業条件区分は、次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1498 1608 1926 1709"> <thead> <tr> <th>作業条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>良 好</td></tr> <tr><td>普 通</td></tr> <tr><td>不 良</td></tr> </tbody> </table> <p>(6) 傾斜区分 傾斜区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1498 1782 1997 1856"> <thead> <tr> <th>傾 斜</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0° ～ 3° 未満</td></tr> <tr><td>3° ～ 8° 未満</td></tr> </tbody> </table>	項目	区分	ほ場長辺 の長さ	土 質	乾 湿	作業条件	傾 斜	単 位	数 量	備 考	混層耕		〇	〇	〇	〇	〇	ha			ほ場長辺の長さ	75m	85m	100m	125m	150m	200m	250m	300m	350m	400m	土 質	砂	火山灰	砂質土	泥炭	乾 湿	乾燥型	湿潤型	作業条件	良 好	普 通	不 良	傾 斜	0° ～ 3° 未満	3° ～ 8° 未満	<p>項目の削除</p>
項目	区分	ほ場長辺 の長さ	土 質	乾 湿	作業条件	傾 斜	単 位	数 量	備 考																																							
混層耕		〇	〇	〇	〇	〇	ha																																									
ほ場長辺の長さ																																																
75m																																																
85m																																																
100m																																																
125m																																																
150m																																																
200m																																																
250m																																																
300m																																																
350m																																																
400m																																																
土 質																																																
砂																																																
火山灰																																																
砂質土																																																
泥炭																																																
乾 湿																																																
乾燥型																																																
湿潤型																																																
作業条件																																																
良 好																																																
普 通																																																
不 良																																																
傾 斜																																																
0° ～ 3° 未満																																																
3° ～ 8° 未満																																																

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>22. 14 隔障物工</p> <p>22. 14.1 本柱打込み 【省略】</p> <p>22. 14.2 支柱取付 【省略】</p> <p>22. 14.3 隔障物架線設置工 【省略】</p> <p>22. 14.4 隔障物付属施設設置工 【省略】</p> <p>22. 15 パドック設置 【省略】</p>	<p>22. 16 隔障物工</p> <p>22. 16.1 本柱打込み 【省略】</p> <p>22. 16.2 支柱取付 【省略】</p> <p>22. 16.3 隔障物架線設置工 【省略】</p> <p>22. 16.4 隔障物付属施設設置工 【省略】</p> <p>22. 17 パドック設置 【省略】</p>	<p>番号の改正</p> <p>”</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p>

